

未来へつなごう

30<sup>th</sup>  
ANNIVERSARY



一般財団法人  
セブン-イレブン記念財団

# 活動報告とご案内 2022~2023



# おかげさまで設立30周年 ご支援ありがとうございます

セブン-イレブン記念財団は、2023年11月20日をもちまして設立30周年を迎えます。これもひとえにお客様、日本全国の環境市民団体の皆様、加盟店オーナー様、従業員の皆様方の温かいご支援と激励のたまものでございます。ここに心よりの感謝を申し上げます。

セブン-イレブン記念財団は、1993年11月に株式会社セブン-イレブン・ジャパンの創立20周年記念事業として、セブン-イレブン加盟店と本部が一体となって“環境”をテーマに社会貢献活動に取り組むことを目的に設立されました。セブン-イレブン店頭でお客様からお預かりした募金と、(株)セブン-イレブン・ジャパン、企業、団体、個人の皆様からの寄付金をもとに「環境市民活動支援」「自然環境保護・保全」「災害復興支援」「広報」の4つの事業領域を設け活動してまいりました。

環境市民活動支援事業の柱となる「環境市民活動助成」は、地域の環境市民団体が新たな社会の担い手として活躍できるよう2001年より助成制度を開始し、これまでに多くの環境市民団体を支援してまいりました。自然環境保護・保全事業のひとつである「セブンの森・セブンの海の森づくり」では、地域住民やNPO、行政と連携し、地域に親しまれ、愛され、次世代に繋げる地域一体型の森づくりを継続し、脱炭素社会の実現と生物多様性の保全に貢献しています。

また大分県玖珠郡九重町で「九重ふるさと自然学校」を、東京都八王子市川町の有地で東京都と協働して「高尾の森自然学校」を運営し、年間を通じて、さまざまな自然体験プログラムの開催や学校の受入れなどを実施し、次世代を担う子どもたちに環境学習の場を提供しています。

セブン-イレブン記念財団は、これからも次世代に豊かな未来をつなぐため、全国の環境市民団体や地域の皆様、セブン-イレブン加盟店およびセブン-イレブン本部と力を合わせて、地域に根差した社会貢献活動を展開してまいります。

皆様のさらなるご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

# 設立30周年記念のロゴと スローガンを制定しました

未来へつなごう



ロゴは、豊かな未来をつくっていく象徴として

「バトン」をモチーフにデザインし、

人から人へと想いがつながる様子や、

そこから新しいアクションが生まれることをシンプルかつ印象的に表現しました。

スローガンは、「未来へつなごう」

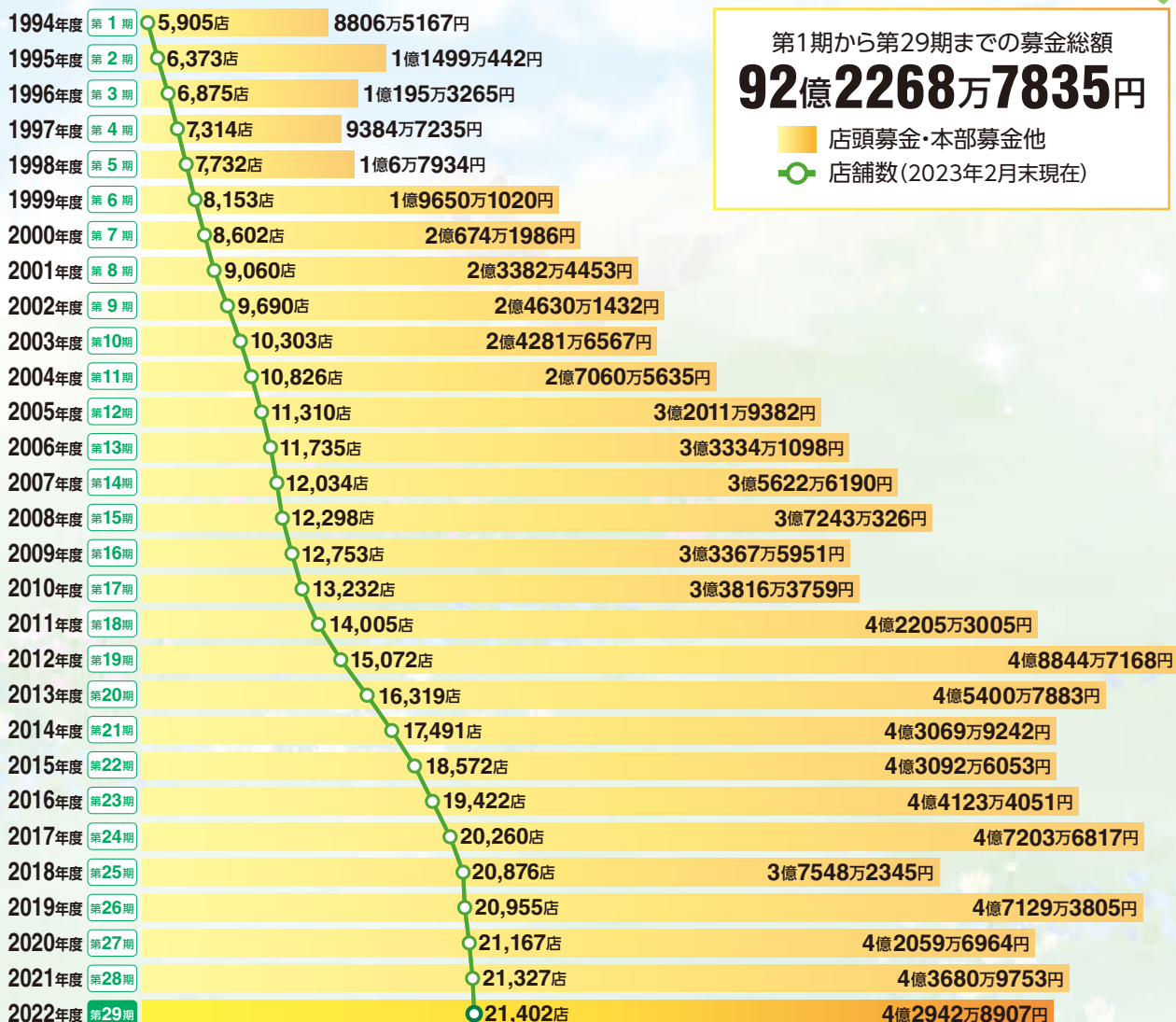
人や街に寄り添い、共生・共創して、よりよい未来をつくっていききたいという

想いを表現し、「つなごう」と呼びかけ型にすることで、

伴走感や親近感を生み出しています。



## 募金額の推移



第1期から第29期までの募金総額

**92億2268万7835円**

■ 店頭募金・本部募金他

○ 店舗数(2023年2月末現在)

## ごあいさつ

いつもセブン-イレブン記念財団へのご理解・ご協力ありがとうございます。セブン-イレブン記念財団は、2023年11月20日をもちまして設立30周年を迎えます。これもひとえにお客様をはじめ、皆様方の温かいご支援と激励のたまものでございます。ここに心よりの感謝を申し上げます。

セブン-イレブン記念財団は、セブン-イレブン・ジャパンの創立20周年記念事業として、セブン-イレブン加盟店と本部が一体となって“環境”をテーマに社会貢献活動に取り組むことを目的に設立されました。

設立当時、日本全国のセブン-イレブンは約5,300店に拡大しており、コンビニエンスストアが近くて便利なお店として地域の皆様に受け入れられたことを示している一方で、セブン-イレブンの拡大は地域社会に貢献すべき責任も担うことになりました。1994年には約5,300店のセブン-イレブンに募金箱を設置し、環境をテーマにした「みどりの基金」を開始。環境に特化した理由は、コンビニエンスストアという利便性の陰には、常にゴミ問題があったからです。

以来三十年、当財団はさまざまな環境活動を支援し、北海道から沖縄まで全国の環境市民団体との活動や助成金という形で支援を続けてまいりました。また東京都と大分県で自然学校を運営し、自然体験を通じて子どもたちが自然や生きものを愛する心を育むことを目的とした環境プログラムや学校受入れも実施しております。例えば、我々の自主事業である「セブンの森、セブンの海の森づくり」は、今までに全29カ所で協定を締結し、現在も18カ所で地域の皆様とともに活動を続けています。このように活動を続けていけるのも、当財団とパートナーシップを組み、日本の素晴らしい自然環境を次世代につなげたいという同じ思いを持っている全国の環境市民団体の皆様のおかげでございます。

これからもセブン-イレブン記念財団は、加盟店や社員、地域の皆様と一緒に日本の美しい自然や生態系を次世代に引き継ぐために、さまざまな団体と協力して活動を進めてまいります。

理事長 **山本 憲司**  
(セブン-イレブン豊洲店オーナー)



## ごあいさつ

日頃、セブン-イレブン記念財団の取り組みにご理解、ご支援を賜り、誠にありがとうございます。

今年、セブン-イレブン記念財団は、おかげさまで設立30周年を迎えることができました。募金や寄付にご協力いただいている皆様、環境活動に取り組まれている各地域の団体や行政の皆様、そして何より、日々、店頭募金箱の管理・運営をしてくださっているオーナー様や従業員の皆様に、改めまして感謝申し上げます。

セブン-イレブン・ジャパンの創立20周年事業として1993年に「みどりの基金」が設立されて以来、加盟店の皆様と本部が一体となり、環境をテーマにした社会貢献活動に取り組んでまいりました。

毎年多くの募金や寄付をお寄せいただいていることは、当財団に対する「多くの方からの期待の表れである」と受け止めています。この想いにしっかりとお応えしていくためにも、加盟店の皆様や本部とともにサステナブルな社会の実現を目指し、目の前の環境問題に誠実に向き合ってまいります。

現在、「海洋プラスチックごみ問題」や「地球温暖化による自然災害の増加」など、さまざまな環境問題が喫緊の課題として顕在化してきています。当財団は、これらの環境問題に向き合い、豊かな自然を次世代につなげていくために、日本全国で環境活動をされている皆様や環境イベントなどへの支援を行っています。また環境省の「つなげよう支えよう森里川海」のプロジェクトに賛同し、森林や海、湖などさまざまな分野での環境保護・保全活動を実施しています。

これからも各地域の環境市民団体と連携することで活動内容の充実を図りながら、日本の美しい自然や生態系を未来につなぐための活動を続けてまいります。



評議員会長 永松 文彦

(株式会社セブン-イレブン・ジャパン 代表取締役社長)

# お祝いメッセージ

当財団にゆかりのある方々よりお祝いのメッセージをいただきました。



## 廣野 良吉様

(成蹊大学 名誉教授)

セブン-イレブン記念財団設立30周年おめでとうございます。  
財団が主催する環境市民活動助成へは、全国各地域で活躍する各種市民団体から年々数百件の応募があり、累計で助成総数は4,635件、助成総額は27億1690万2184円に達しました。

地域美化助成を除く審査では、大気・水・土壌や気候変動など各環境分野の著名専門家で構成された専門審査会による厳正な一次審査を経て、最終審査会での「社会的インパクト度合い」、「モデル化可能性有無」など、特定選定基準に基づく審査で採択された助成件数は、2022年度においては120件に及びました。時代の変遷と共に、市民団体の環境保全活動分野は一層広がり、その手法は一層科学性に富み効率化し、その方法も単独から地方自治体をも巻き込んだ連携・複合活動へと広がりを見せ、インパクトも一層広域化して持続性も高まってきたといえるでしょう。

こうして本財団の助成事業が、個別・相互交流連携支援を通じて各種環境市民団体のイニシアティブ・自立化・知見深化に役立ってきたのみならず、環境以外の活動で地域ないし全国的に従事する市民団体とも連携して、地域住民全体の環境意識の向上とともに活力ある地域経済と包摂的な社会の充実に全国津々浦々で一層貢献してきたことを高く評価したいと思います。



## 水野 正人様

(公益財団法人 ボーイスカウト日本連盟 理事長)

セブン-イレブン記念財団が、創立30周年という記念すべき節目を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

貴財団は、長きにわたり日本の環境活動の取り組みを支える助成事業に加え、「セブンの森」を始めとする環境事業などに取り組み、国内の環境保護保全に多大な貢献をされています。これもひとえに、セブン-イレブン加盟店や本部、そして地域の皆さまが一体となって環境をテーマに社会貢献活動に取り組みられてきたセブン-イレブン記念財団の皆さまのご尽力のたまものであり、青少年育成に携わる私どもとして、改めて敬意と感謝を表する次第であります。

社会情勢としても激動の時代、地域社会に対して当たり前のことができない、非常に厳しい時代が到来する中で、昨年2022年、私どもボーイスカウト日本連盟は、循環型社会を目指す環境アクション「プラごみバスターズ大作戦」を行い、環境課題の解決と学習の機会として、地域店舗や本部、財団の皆様とともに地域清掃活動を実施できたことは大変光栄でありました。当連盟としましては今後も継続して、皆様と手を携え、水も森も豊かな未来に向けて共に歩みを進め、財団の掲げる“地域に根差した社会貢献活動”に取り組む所存です。

結びに、セブン-イレブン記念財団のますますのご発展と皆様のご健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



## 小川 浩子様

(認定特定非営利活動法人 霧多布湿原ナショナルトラスト 理事長)



この度は、一般財団法人セブン-イレブン記念財団様の設立30周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

1993年の貴財団創立より、(株)セブン-イレブン・ジャパン様と全国の加盟店様にお客様から寄せられた募金が、環境をテーマとした市民活動や自然環境保護保全活動を支援されるという、気候変動や生態系維持へ危機的状況が明らかになる以前からの先見の明と地域に根差した社会貢献に対しまして尊敬の念に堪えません。2002年、当時セブン-イレブンみどりの基金様と当NPO法人とのパートナーシップ協定の締結を賜り、ナショナルトラスト運動を通して私達の活動に長くご支援を頂いております。貴財団との共有地を含めた湿原の保全、「霧多布セブンの森」事業による森づくりとその維持や湿原とつながる海の清掃など、皆様には多くの汗を流されご協力を賜りました。

また、山本理事長におかれましては、奥琵琶瀬野鳥公園木道の川沿いから水鳥をご覧いただくなど、ご視察も含め貴財団関係者様にご来訪賜り、現地を体験しお伝え下さっておりますことは、私達を動かす源となっております。地域の特徴や状況に耳を傾け成果へ導くご指導とご協力のもと、この湿原を未来へ引き継ぐ活動ができますことに感謝の気持ちしかありません。

これからも一般財団法人セブン-イレブン記念財団様が、私達の将来を明るく照らす光として、更なるご繁栄とご活躍を心からお祈り申し上げます。



## 野口 健様

(認定特定非営利活動法人 富士山クラブ 理事長)

貴財団の御創立30周年を、心よりお慶び申し上げます。この喜びの節目を迎えられましたのは、貴財団の皆さま、セブン-イレブン・ジャパンの社員や加盟店、関係者、ご家族の皆さまの環境問題解決に向けた確固とした意志と、たゆまぬ努力のたまものと感服いたしております。

振り返りますと、貴財団と富士山クラブとは、当クラブが設立された1998年以来ご支援、ご協力を賜ってまいりました。両者間で「富士山ごみチャレンジプロジェクト」を締結し、富士山麓での清掃活動をはじめ、海岸のプラスチックごみ清掃、外来種の駆除活動とさまざまな活動に取り組んでいるところです。

おかげさまで山麓のごみは年々、減少しておりますが、コロナ禍が一段落したいま、ごみの持ち帰りを周知されていない外国人観光客の増加や道路沿い、駐車場のごみのポイ捨てなど新たな課題も浮上しております。

こうした課題解決に向け、貴財団とのパートナーシップを基盤に、「富士山モデル」と呼べるような、地域一体となったごみの排出抑制、全体量削減、資源循環のモデルをつくり、SDGsとカーボンニュートラル目標に限りなく貢献できれば幸甚です。

今後とも変わらぬご支援を賜りますとともに、40周年、50周年の記念の日も、ともに笑顔で迎えられることを祈念して、ご挨拶いたします。



## 大場 隆博様

(特定非営利活動法人 しんりん 理事長)

一般財団法人セブン-イレブン記念財団設立30周年おめでとうございます。財団のことを知ったきっかけは2008年岩手・宮城内陸地震の被災地支援時でした。一緒に森づくりの活動を始めさせていただいたのは、2011年東日本大震災からでした。被災地の復興支援の中、私たちの森づくりが「セブンの森」の森づくりの考えと同じであるということで、宮城県大崎市鳴子温泉のリゾート開発に失敗し、100ha以上乱伐された森の再生として宮城セブンの森（267ha）の活動が始まりました。

企業のCSR活動として植林のみの一過性の活動が多いのですが、財団は植林、下草刈、間伐など長期に渡って森づくりをしてくださる他、森づくりは森から出てくる資源の経済的有効活用が必要との考えで、間伐された木材の積極的な活用にも取り組んでいただいております。サーキュラーエコノミーの取り組みとしても様々な木材の活用がありました。一例としては店頭を設置される木製の募金箱です。間伐された木材の建築材にならない箇所を使用、ビスではなく竹釘で接合し、使用後は部品の再利用の他、木部部分はペレットストーブ用の木質燃料となり廃棄物は一切発生しません。

また、長期にわたっての森づくりでは、毎年一緒に活動をしていただけるオーナーの皆さんとも交流ができました。これからも50周年、100周年と財団の活動が続き一緒に100年・200年の多様性のある循環する森づくりができたらと思います。



## 古川 恵太様 (特定非営利活動法人 海辺づくり研究会 理事長) 木村 尚様 (特定非営利活動法人 海辺づくり研究会 事務局長)

セブン-イレブン記念財団様、設立30周年おめでとうございます。2011年に横須賀市・走水海岸で、海草であるアマモが広がる「海の森」の再生のための種取り（花枝採取）活動を実施してから、早いもので12年が過ぎようとしています。それから間断なく東京湾各地での活動を継続され、現在では、青森市・塩竈市・館山市・阪南市での「海の森づくり」に広がっています。名実ともに日本の海の森を守り、育て、活用する取り組みを推進されるとともに、「海辺の自然再生・高校生サミット」の支援をとおして若者の育成にも力を注いでいただいております。

昨今、地球温暖化対策としてブルーカーボンの取り組みが注目されてきております。アマモ場の再生は、アマモが吸収した炭素が、海底へ堆積したり難分解性の炭素に変わることによって100年単位の炭素の固定（隔離）が行われるとともに、生物多様性を保全し、人々の海での活動を支える基盤となるといったコ・ベネフィット（共益）を生み出しています。

そうしたブルーカーボンの特質を早くから理解し、グリーンカーボン（水源の森・河畔林）の活動との一体的な「セブンの森」活動として多くの団体を支援し、自らも保全活動の先頭に立って走り続けられていることに深く敬意を表し、そうした活動にご一緒させていただいていることに感謝いたしております。今後ますますのご発展を祈念いたします。



# セブン-イレブン記念財団の「29年のあゆみ」

※団体名は現在の名称です。※セブンの森の一覧は、20ページをご覧ください。



## 1993年(平成5年)

11月 ▶ セブン-イレブンみどりの基金設立

## 1994年(平成6年)

- 2月 ▶ 全国5,300店のセブン-イレブンに各店1個の募金箱を設置
- 3月 ▶ (財)国立公園協会「自然公園快適環境づくり助成事業」開始
  - ▶ 富士山地域美化推進事業・尾瀬地区への特別助成開始
  - ▶ (財)都市緑化基金「緑と花のスポットガーデン助成事業」開始
  - ▶ (公財)ボーイスカウト日本連盟「スカウトの日・カントリー大作戦」に助成開始



1996年度活動報告書

## 1995年(平成7年)

- 1月 ▶ (財)日本グラウンドワーク協会を通じた一般公募助成制度開始
- 3月 ▶ 「地球にやさしい作文・活動報告コンテスト」協賛開始

## 1996年(平成8年)

- 8月 ▶ 「活動報告書」「活動報告ビデオ」制作開始
  - ▶ 神奈川県鎌倉市「若宮大路グリーン・クリーン運動」へ活動助成開始
  - ▶ 九州地区「ラブアース・クリーンアップ」へ活動助成開始

## 1997年(平成9年)

- 5月 ▶ 「札幌大通公園花壇」出展

## 1998年(平成10年)

- 8月 ▶ 「富士山地域の清掃活動」に(株)セブン-イレブン・ジャパン社員参加、以降毎年継続

## 1999年(平成11年)

- 3月 ▶ 募金箱を各店2個の設置に変更
- 7月 ▶ 「北海道森林マラソン(現:北海道森林スポーツフェスタ)」への特別協賛開始(第2回)

## 2000年(平成12年)

- 4月 ▶ 認定NPO法人富士山クラブを通じ、「富士山環境保全支援プラン」助成開始
- 7月 ▶ ホームページ開設
  - ▶ 「セブン-イレブンデー全国一斉清掃活動」に軍手提供
  - ▶ 「びわ湖滋賀県下一斉清掃活動」に軍手提供
- 10月 ▶ 「日光杉並木オーナー制度」に加入し杉並木保護・保全活動開始
  - ▶ 林野庁と「巨樹・巨木保護活動」を推進



富士山山頂バイオトイレ  
杉チップ投入

## 2001年(平成13年)

- 4月 ▶ 「環境市民ボランティア活動助成制度(現:環境市民活動助成制度)」開始
- 8月 ▶ 認定NPO法人富士山クラブの富士山山頂バイオトイレ設置事業を支援

## 2002年(平成14年)

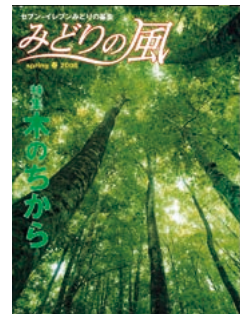
- 2月 ▶ 「環境ボランティアリーダー海外研修制度(現:環境NPOリーダー海外研修制度)」開始
- 8月 ▶ 「ボランティアスタッフ制度」運用開始
- 10月 ▶ 広島市内4カ所に「パートナー花壇」出展
  - ▶ (財)都市緑化基金より都市緑化功労者として感謝状を授与される
- 11月 ▶ 「九州森林マラソン(現:九州森林スポーツフェスタ)」特別協賛開始(第1回)
- 12月 ▶ 「霧多布湿原保全活動」として北海道の認定NPO法人霧多布湿原ナショナルトラストとパートナーシップ協定を結び、湿原150haの保護・保全活動開始



2002年2月  
第1回海外研修オーストラリア

## 2003年(平成15年)

- 4月 ▶ BSハイビジョン放送で環境市民ボランティア団体紹介番組を提供
  - ▶ (株)セブン-イレブン・ジャパンビル内にみどりの基金事務局開設
- 7月 ▶ 環境市民ボランティア団体7団体とパートナーシップ協定締結
- 12月 ▶ 「北海道学生環境ボランティア支援制度」開始



広報誌「みどりの風」創刊号

## 2004年(平成16年)

- 5月 ▶ (公財)ボーイスカウト日本連盟より特別感謝章を授与される
  - ▶ 「ラブアース・クリーンアップ in 北海道」への支援開始



トキこども大使

## 2005年(平成17年)

- 3月 ▶ 広報誌「みどりの風」創刊
- 4月 ▶ 会報「みどりの基金だより」創刊
- 5月 ▶ 「自然環境保護・保全活動にかかる調査研究助成」開始
- 6月 ▶ 「日独ファンドレイジング(資金調達)・シンポジウム」を名古屋市で開催
- 8月 ▶ 「トキこども大使」を新潟県佐渡島に派遣開始

## 2006年(平成18年)

- 5月 ▶ (株)セブン・カードサービスのポイントチャリティ開始
- 9月 ▶ 「支笏湖周辺台風災害・復興の森づくり」開始



2006年9月17日第1回のメインデーには1,225名の市民が参加

## 2007年(平成19年)

- 4月 ▶ 「九重ふるさと自然学校」開校  
認定NPO法人霧多布湿原ナショナルトラストより感謝状を授与される
- 8月 ▶ (公財)日光杉並木保護財団より感謝状を授与される
- 12月 ▶ 「平成19年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰」受賞



2007年4月21日  
九重ふるさと自然学校開校



2008年11月1日  
第1回「三宅島緑化プロジェクト」

## 2008年(平成20年)

- 11月 ▶ 「三宅島緑化プロジェクト」開始
  - ▶ 「海辺の自然再生・高校生サミット」助成開始(第1回神奈川県)

## 2009年(平成21年)

- 5月 ▶ 「支笏湖周辺台風災害・復興の森づくり」の活動に対し、「国民の森づくり推進功労者」として林野庁長官より感謝状を授与される
- 8月 ▶ 「学校の森・子どもサミット」に協賛開始(第3回四国)

## 2010年(平成22年)

- 2月 ▶ 東京都と「東京の緑を守ろうプロジェクト」に関する協定を締結
- 3月 ▶ 一般財団法人セブン-イレブン記念財団設立
- 5月 ▶ 国連の生物多様性条約事務局の「グリーンウェイブ」に苗木提供開始



2010年2月17日「東京の緑を守ろうプロジェクト」に関する協定締結式

## 2011年(平成23年)

- 6月 ▶ 「東京湾再生アマモプロジェクト」開始
  - ▶ 「東日本大震災復興プロジェクト」開始
- 10月 ▶ 「脱炭素チャレンジカップ(旧名称:低炭素杯)」共催開始
- 11月 ▶ 「里地里山プロジェクト」開始
  - ▶ (株)セブン・カードサービスの「nanacoポイント募金」開始



2011年6月11日  
第1回「東日本大震災復興プロジェクト」

## 2012年(平成24年)

- 3月 ▶ 「東北に緑を！セブン-イレブンプロジェクト」開始
- ▶ 「森林保全プロジェクト」開始
- ▶ 森林の再生「千葉セブンの森」づくり開始

## 2013年(平成25年)

- 3月 ▶ 九重ふるさと自然学校と学校法人文理学園日本文理大学が「学生のボランティア活動およびインターンシップ推進に関する協定」を締結
- 5月 ▶ 東京都立日比谷公園で開催する「森と花の祭典ーみどりの感謝祭」に出展開始(第13回)
- ▶ 「生物多様性アクション大賞」共催開始(第1回)
- 11月 ▶ 「東京湾再生官民連携フォーラム」に協力
- ▶ 20周年記念誌「わたしの里山物語」発行



20周年記念誌  
「わたしの里山物語」発行



2015年4月10日  
高尾の森自然学校開校

## 2014年(平成26年)

- 3月 ▶ 九重ふるさと自然学校の「生きもの育む自然共生型田んぼづくり」が、国連生物多様性の10年日本委員会連携事業に認定
- 6月 ▶ 東京都と「民間主体との協働による緑地保全モデル事業に関する協定」を締結
- 7月 ▶ 「セブンの森」の間伐材を利用した木製募金箱を設置開始

## 2015年(平成27年)

- 4月 ▶ 高尾の森自然学校開校
- ▶ 「森のようちえん全国交流フォーラム」特別協賛開始(第11回)
- 11月 ▶ 国連生物多様性の10年日本委員会(UNDB-J)より感謝状を授与される



2017年7月21日 海事関係功労者  
表彰港湾空湾功労(振興発展)に表彰

## 2016年(平成28年)

- 4月 ▶ 東日本大震災復興プロジェクトとして、「宮城セブンの森」づくり開始

## 2017年(平成29年)

- 5月 ▶ ホームページのスマートフォン対応開始
- 7月 ▶ 海事関係功労者表彰港湾空湾功労(振興発展)に表彰
- 10月 ▶ (一財)みなと総合研究財団主催「東京湾海の環境再生賞」の「国土交通大臣賞」を授与される
- ▶ 森林整備・保全活動「長野セブンの森」づくり開始
- 11月 ▶ 森林整備・保全活動「福井セブンの森」づくり開始

### 阪南セブンの海の森」協定書締結



2018年6月1日「阪南セブンの海の森」  
大阪府大阪市と調印

## 2018年(平成30年)

- 5月 ▶ (株)セブン・ペイメントサービスのセブン銀行ATM「現金受取サービス」募金開始
- 6月 ▶ 海の再生「阪南セブンの海の森」づくり開始
- ▶ 河畔林の再生「茨城セブンの森」づくり開始
- 9月 ▶ 湿原の保全「霧多布セブンの森」づくり開始
- 12月 ▶ 25周年記念誌『「江戸しぐさ」に学ぶ おもてなしのこころ』発行

## 2019年(平成31年/令和元年)

- 4月 ▶ 狭小店舗用の募金箱設置
- 10月 ▶ 「環境市民活動助成」PDFフォームでの申請受付開始
- 11月 ▶ 琵琶湖の保全活動「滋賀セブンの森」づくり開始



『「江戸しぐさ」に学ぶ  
おもてなしのこころ』発行

## 2020年(令和2年)

- 3月 ▶ 新型コロナウイルス感染拡大に伴う、環境市民活動助成特別措置の実施
- 4月 ▶ 森林整備・保全活動「山梨セブンの森」づくり開始
- 6月 ▶ セブンマイルプログラム「貯まったマイルを寄付」開始
- 9月 ▶ 「環境市民活動助成」ご案内ビデオ制作
  - ▶ 「環境市民活動助成」助成金セミナーオンライン開催
- 10月 ▶ 松島湾復興支援活動「塩竈セブンの海の森」づくり開始(7月協定締結)
- 11月 ▶ 「グリーンインフラ・ネットワーク・ジャパン全国大会」協賛開始(第1回)
  - ▶ 九重ふるさと自然学校が「青少年の健全育成に尽力」していることを認められ、大分県知事より感謝状、大分県青少年育成県民会議より表彰状を授与される

## 2021年(令和3年)

- 2月 ▶ 森林整備・保全活動「三重セブンの森」づくり開始(協定更新)
- 3月 ▶ 環境省大臣官房総合政策課及び一般社団法人環境パートナーシップ会議の三者と「環境保全及び協働取り組みに関する協力協定」を締結
  - ▶ 海と森林の再生「館山セブンの海の森」づくり開始
  - ▶ (株)セブン・グローバルレミットが提供する海外送金サービス「Sendy」からの募金開始
- 5月 ▶ NPO法人 海辺つくり研究会と「自然と人間が調和・共生する海辺つくり事業基本協定」を締結
- 6月 ▶ 草原の保全「大分セブンの森」づくり開始
- 7月 ▶ セブン-イレブン記念財団のホームページリニューアルを実施
  - ▶ 「明日にいいこと。つなげる、つづける。」
  - ▶ “セブンの森、セブンの海の森”を日本経済新聞(7月7日)に掲載
  - ▶ 「明日にいいこと。つなげる、つづける。」
  - ▶ “セブンの森、セブンの海の森”のテレビCM放映
  - ▶ セブン-イレブン店舗にあるセブン銀行ATMからの募金開始
- 9月 ▶ 「環境市民活動助成」WEBシステムでの申請受付開始
- 10月 ▶ 海の再生「青森セブンの海の森」づくり開始
  - ▶ 阪南セブンの海の森活動が、「阪南市制施行30周年記念事業」にて感謝状を授与される
- 12月 ▶ セブン-イレブンのサスティナブルギフトからの寄付開始



2021年3月24日  
「館山セブンの海の森」協定式記念写真



日本経済新聞(2021年7月7日)掲載



2021年10月9日  
「青森セブンの海の森」協定式記念写真

## 2022年(令和4年)

- 7月～11月 ▶ レジ袋収益金を活用した(公財)ボーイスカウト日本連盟との全国一斉清掃活動「プラごみバスターズ大作戦」実施(7/11～11/7)
- 11月 ▶ 河畔林の再生「埼玉セブンの森」づくり開始
  - ▶ (公財)ボーイスカウト日本連盟 創立100周年記念式典にてセブン-イレブン記念財団が特別表彰を受賞



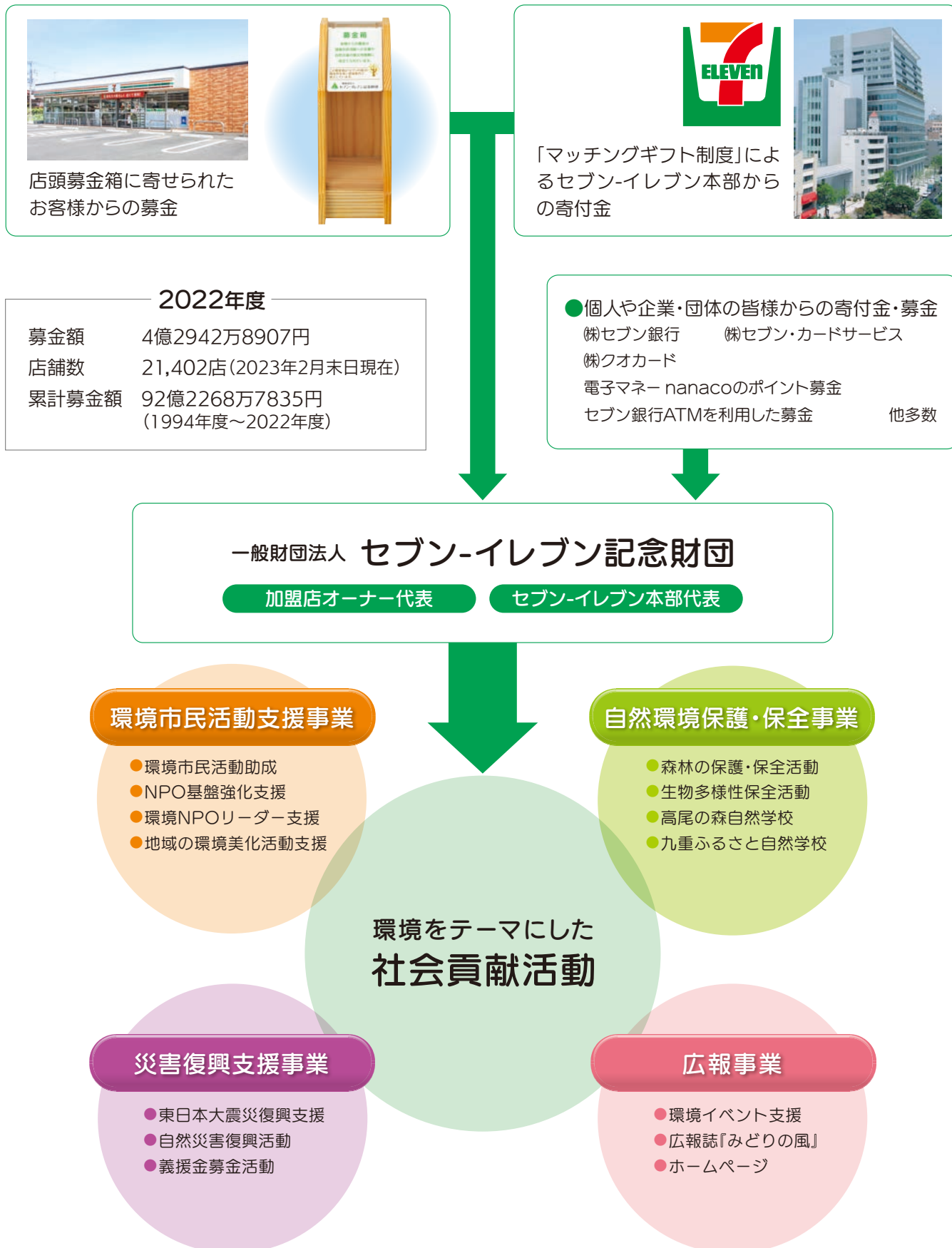
2022年11月9日  
「埼玉セブンの森」協定式記念写真



2022年11月26日 ボーイスカウト日本連盟創立100周年記念式典にて

# お客様の募金は、環境をテーマにした社会貢献活動に活かされています。

## 募金の流れと事業図



# 地域に根ざした 環境市民活動を支援

セブン-イレブン記念財団は、地域の環境市民団体が新しい社会の担い手として活躍できるよう、市民が主体的に行っている地域の環境活動を様々な角度から支援しています。



湘南桂台みどりの会  
(神奈川県)

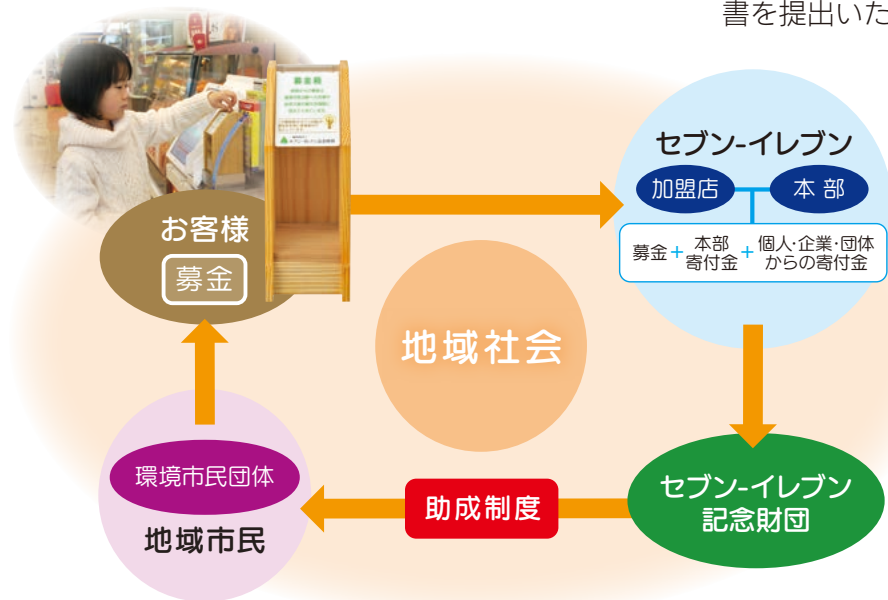
## 環境市民活動助成

お客様が募金を通して地域の環境活動を支援する市民参加型の社会貢献活動です。

環境市民活動支援事業の大きな柱は、公募制の「環境市民活動助成」です。日本全国のセブン-イレブン店頭募金箱にお客様から寄せられた募金を、地域の環境市民団体に助成金という形でお届けし、活動を支援しています。

「環境市民活動助成」は、2001年に日本国内の団体および活動を助成対象として開始しました。助成

先を全国から公募し、助成先団体選定の透明性と公正性を高めるために、それぞれの活動分野を審査する専門審査会と、その結果をもって広い視点から審査を行う最終審査会の2度の審査会を設け、厳正な審査を経て助成先団体を決定しています。助成先には、安心して活動できるように年度初めに助成金をお振り込みし、活動終了後に活動報告書と会計報告書を提出いただいています。



2023年度 環境市民活動助成パンフレット

助成の種類 (2022年度)	助成の趣旨と特徴	助成の種類 (2022年度)	助成の趣旨と特徴
設立25周年記念2019年度限定 山の森・海の森づくり助成(4年目)	「CO <sub>2</sub> 削減」と「豊かな自然環境の再生」を推進する活動に、直接必要な経費を原則5年間継続して支援します。	活動助成	自然環境保護や脱炭素化をめざす取り組みなど、市民が主体となって行う環境活動を1年間支援します。
NPO基盤強化助成	持続可能な活動を実現する自主事業の構築・確立をめざすNPO法人に対し、事業資金・専従職員の人件費・事務所家賃を原則3年間支援します。	地域美化助成	ごみのない、緑と花咲く街並みをつくる活動を1年間支援します。

## NPO基盤強化支援

### 地域の環境市民団体のネットワーク活動を支援しています。

全国各地でたくさんのボランティア団体や個人が環境保護・保全活動をしています。そうした小さな活動を個々の活動にとどめず、ネットワークの中で「人・もの・資金・情報・ノウハウ・マネジメント・専門性」を相互に交流させれば、それぞれの活動基盤を強化することができます。

セブン-イレブン記念財団は、北海道、東海、近畿で地域のネットワーク活動をしている組織の事務局運営を設立準備から2022年度まで支援しました。

また、助成金セミナーや情報交流会を共催しています。



「未来創造プログラム」流域を学ぶ林業合宿



助成金セミナー  
オンライン開催

## 環境NPOリーダー支援

※2022年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

### 環境市民活動を実践するリーダーを支援しています。

2002年から環境NPOで活動するリーダーの個人支援として、公募制の「環境NPOリーダー海外研修」を実施しています。この研修制度は、海外の環境NPOで学んだ組織運営や活動技術、情報や経験、ノウハウを、帰国後に日本各地の活動現場で活かすことを目的としています。研修生は書類審査・面接審査を経て決定しています。

また、研修生の有志が結成した一般社団法人日本環境NPOネットワークの運営を支援すると共に、

同NPOと「日本環境NPOネットワーク会議」を共催し、情報の交換や共有を図り、環境NPOリーダー間のネットワークを広げています。



活動現場を視察

## 地域の環境美化活動

### 「#あしもとから」活動を実施しています。

日本全国の環境活動を行っている6名がはじめた活動で、「ゴ(5)×ミ(3)=15」である毎月15日を“自分たちのあしもとからできる、環境にいいことをする日”と決めて全国各地で清掃活動を実施し、

その時にあしもとの写真を撮影してSNSに掲載しています。

セブン-イレブン記念財団では毎月、大分県と東京都の自然学校と活動し、SNSに掲載しています。



事務局(3月)



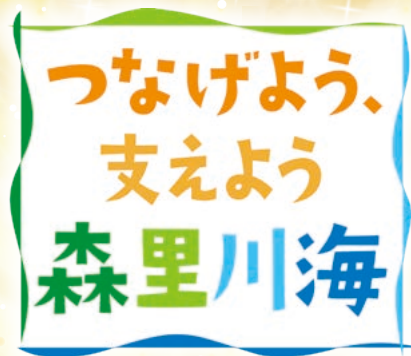
高尾の森自然学校(7月)



九重ふるさと自然学校(11月)

# 日本の美しい自然を 次世代に引き継ぐために

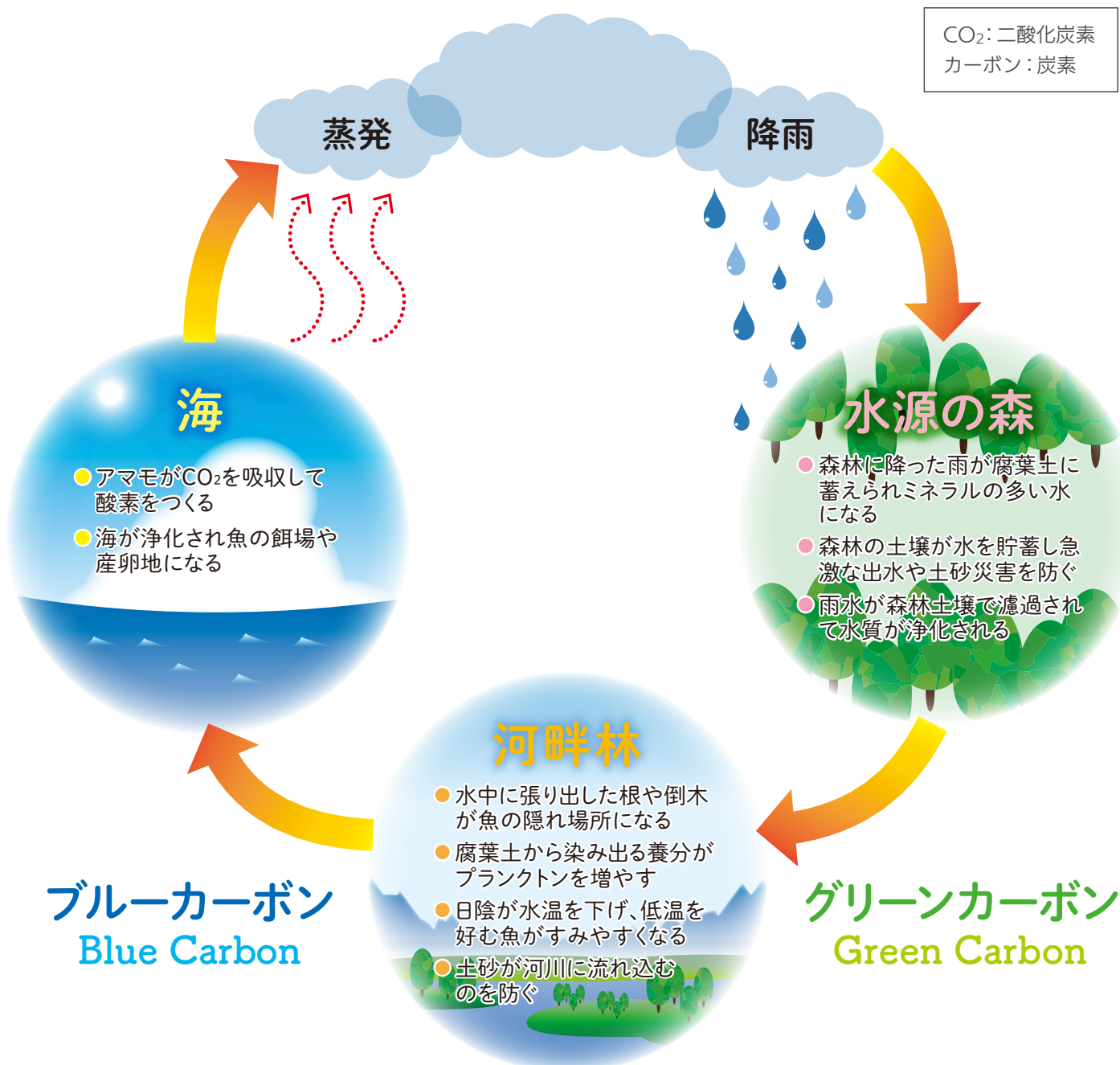
日本の四季折々の美しい自然や貴重な生態系を次世代に引き継ぐために、さまざまな団体と協力して保護・保全活動を推進するとともに、自然学校を運営しています。



セブン-イレブン記念財団は、このプロジェクトに賛同しています

## 森林の保護・保全活動「山の森づくり。海の森づくり。」

「山の森」と「海の森」の二つの視点から「CO<sub>2</sub>削減」と「豊かな自然環境の再生」を進めています。





## 🎁 生物多様性

セブン-イレブン記念財団の事業である自然環境保護・保全事業では、セブンの森活動や自然学校の運営を通じて、森林や生物多様性の保護・保全活動を行っています。

「生物多様性」とは、動物や植物、昆虫など、さまざまな生きものたちの豊かな個性とつながりのことをいい、現在、地球には3,000万種ともいわれる多様な生きものが存在し、人類の生存を支え、私たちに様々な恵みをもたらしてくれています。

ですが、開発や乱獲、里地里山の手入れ不足や管理放棄、「外来種」などの持ち込み、地球温暖化による種の絶滅の危機など、人間活動による影響が主な要因で、たくさんの生きものたちが危機に瀕しています。

私たち人類も生きものであり、他の生きものたちと繋がり、支え合って生きています。

私たちは生物多様性を守るために、今、何ができるのかを考え、行動に移していくことが大切です。



引用：環境省生物多様性ウェブサイト

## 🎁 埼玉セブンの森

### 「埼玉セブンの森」環境保全活動協定締結

2022年11月9日(水)、荒川太郎右衛門地区自然再生協議会と国土交通省関東地方整備局荒川上流河川事務所、川島町、セブン-イレブン記念財団の四者は、「埼玉セブンの森」事業に係る連携に関する協定を締結しました。

「埼玉セブンの森」の活動場所となる太郎右衛門自然再生地は、桶川市・川島町・上尾市に位置する広大な河川敷です。太郎右衛門自然再生地は、かつて湿地が広がっていましたが、樹林地の高木・壮齢化



第1回埼玉セブンの森活動(2022年12月3日)

により、河畔の特徴的な姿が失われているなどの課題があり、「荒川太郎右衛門地区自然再生事業」は、本来の自然環境を取り戻そうと取り組まれている事業です。

「埼玉セブンの森」では、以下を活動の目的・テーマとし、太郎右衛門自然再生地にて地域の皆様と一緒に活動を進めてまいります。

- ◆ 荒川の河川改修により残された旧流路周辺の河畔林や湿地を保全・再生し、生物多様性の向上を図る
- ◆ 「エコロジカル・ネットワーク」(野生動植物の生息空間)づくり
- ◆ 流域住民が自然と触れ合う機会を提供する



埼玉セブンの森 協定締結式

## 森の育木活動で健全な森づくり

日本は木を植えて木を育て、木を切って使い、また植えるという木を循環させる文化を持っています。木が育つには何十年もかかり、その間の植樹や下刈り、間伐などの育木を人が計画的に行って森を守ってきました。



「館山セブンの海の森」タブノキ植樹

セブン-イレブン記念財団の「森づくり」の基本的な考え方は、植樹から下刈り・間伐までの森の育木活



「福井セブンの森」支柱設置

動を行い、健全な森をつくることです。2006年にスタートさせて以来、全国で森林・海・湖・湿原・草原・河畔林・竹林とさまざまな「セブンの森」づくりに取り組んでいます。

## 「宮城セブンの森」の間伐材を利用した木製募金箱

2012年より震災復興支援として、豊かな森をつくるために宮城県大崎市鳴子温泉玉ノ木にてNPO法人しんりんと協定を締結し、「宮城セブンの森」づくりを行っています。



「宮城セブンの森」ミズキ補植

2014年から間伐材を利用した木製募金箱を店頭で設置し、木材を循環させていくことで森林保全と地球温暖化防止につなげています。



募金箱は宮城県大崎市の障害者就労支援事業所で組み立てています



## アマモを増やして海を再生

「海の森づくり」として、水質浄化やCO<sub>2</sub>を減らすアマモを増やして豊かな海に再生する活動に取り組んでいます。「ブルーカーボン」は地球上の生物が固定化する全炭素量の55%を占めており、温室効果ガス削減の切り札ともいわれています。

アマモを増やして豊かな海に再生する活動は、地域の方々と共にセブン-イレブン加盟店や本部社員からボランティアを募り実施しています。



アマモの種

現在、アマモ場の保全活動の先駆けとなった「東京湾UMIプロジェクト」をはじめ、大阪湾



「阪南セブンの海の森」海岸清掃活動

で阪南セブンの海の森、松島湾で塩竈セブンの海の森、館山湾で館山セブンの海の森、陸奥湾で青森セブンの海の森の5カ所で活動しています。



# 日本の美しい自然遺産を次世代へ

## 霧多布湿原保全活動

豊かな生態系を抱く霧多布湿原を次世代に引き継ぐために、「小さな力が集まって、大切な自然遺産を残していく」ナショナルトラスト運動を推進しています。

北海道浜中町の認定NPO法人霧多布湿原ナショナルトラストとパートナーシップ協定を結び、2002年より霧多布湿原の民有地などを取得し保全しています。

2018年より「霧多布セブンの森」も始動しました。



霧多布湿原は、ラムサール条約登録湿地  
(撮影：ノーザンフォト 北村康春)

取得面積 **482.9ha** (2023年2月末日現在)

## 琵琶湖保全活動

琵琶湖を取り巻く環境を健全な姿で引き継ぐため、2019年に滋賀県、守山市、淡海を守る釣り人の会、セブン-イレブン記念財団の四者で連携協定を

締結し、「滋賀セブンの森」活動として湖岸清掃や小さな自然再生を実施しています。

年2回の活動には、行政、企業、学生、市民と産官学民が一体となり、湖岸に漂着したゴミの収集、分別作業を力を合わせて行っています。



「滋賀セブンの森」ごみの分別



「滋賀セブンの森」湖岸清掃活動

## 富士山保全活動

セブン-イレブン記念財団は1994年より富士山の環境美化保全活動への取り組みを開始しました。1998年より、セブン-イレブン加盟店と(株)セブン-イレブン・ジャパン社員などを対象に「セブン-イレブン記念財団富士山保全活動」を主催し、認定NPO法人富士山クラブの協力を得て山梨県側と静岡県側を交互に清掃や外来種駆除などを行っています。



富士山清掃活動



富士山清掃活動集合写真

## 「セブンの森」づくり一覧 (全29カ所、うち終了11カ所) 2023年2月末日現在

「セブンの森」は下刈りや植樹を行い、10年後・20年後に地域の自然環境やニーズに合わせた森にする、というような地域に親しまれ、愛され、次世代に繋げる地域一体型の森づくりを目指しています。2018年度からは国有林・公有林に私有林も加え、地域住民やNPO、行政と連携し、気軽に参加して自然体験や地域交流ができる森づくりを行っています。

都道府県	名称	場所	開始年	面積	活動分野
北海道	支笏湖セブンの森	千歳市	2006年～2021年終了	16.3ha	森林
北海道	千歳セブンの森	千歳市幌加	2009年～2014年終了	1.2ha	森林
北海道	えりも岬セブンの森	幌泉郡えりも町	2013年～2023年更新	4.7ha	森林
北海道	霧多布セブンの森	厚岸郡浜中町	2018年～	482.9ha	湿原
青森県	青森セブンの海の森	青森市	2021年～	—	海
宮城県	宮城セブンの森	大崎市鳴子温泉玉ノ木	2013年～	300.0ha	森林
宮城県	仙台湾セブンの森	名取市下増田台	2014年～2019年終了	1.0ha	森林
宮城県	東松島セブンの森	東松島市浜市	2016年～2021年終了	1.0ha	森林
宮城県	塩竈セブンの海の森	塩竈市	2020年～	—	海
福島県	相馬セブンの森	相馬市磯部大洲	2016年～2021年終了	0.3ha	森林
茨城県	茨城セブンの森	水戸市見川町桜川緑地	2018年～	6.0ha	河畔林
栃木県	栃木セブンの森	矢板市長井	2013年～2018年終了	2.0ha	森林
埼玉県	埼玉セブンの森	太郎右衛門自然再生地	2022年～	—	河畔林
千葉県	千葉セブンの森	富津市	2012年～2016年終了	2.5ha	森林
千葉県	館山セブンの海の森	館山市沖ノ島	2021年～	—	海
東京都	高尾セブンの森	八王子市川町	2014年～	26.5ha	森林
福井県	福井セブンの森	福井市小羽町「清水きららの森～おばやま自然公園～」	2017年～	2.6ha	森林
山梨県	山梨セブンの森	笛吹市石和町	2020年～	20.6ha	森林
長野県	長野セブンの森 I	埴科郡坂城町	2012年～2016年終了	250.0ha	森林
長野県	長野セブンの森 II	上水内郡信濃町「やすらぎの森」	2017年～	15.9ha	森林
三重県	三重セブンの森	津市美里町	2014年～2019年終了 2020年更新	1.2ha→8.8ha	森林
滋賀県	滋賀セブンの森	守山市今浜町 第2なぎさ公園	2019年～	—	湖
大阪府	大阪セブンの森	能勢郡能勢町「歌垣山」	2013年～2018年終了	3.7ha	森林
大阪府	阪南セブンの海の森	阪南市西鳥取漁港西海岸	2018年～	—	海
広島県	広島セブンの森	東広島市八本松町	2013年～2021年更新	3.6ha→15ha	森林
福岡県	福岡セブンの森	福岡市早良区曲刈	2015年～2020年終了	1.8ha	森林
佐賀県	佐賀セブンの森	三養基郡基山町	2014年～	4.7ha	竹林
宮崎県	宮崎セブンの森	日南市北郷町	2013年～2020年終了	3.0ha	森林
大分県	大分セブンの森	玖珠郡九重町	2021年～	600ha	草原

面積合計 1770.5ha



青森セブンの海の森

## 「セブンの森」

2023年2月末日現在29カ所

※長野は2カ所（うち終了11カ所）

■ セブンの森

■ セブンの海の森



霧多布セブンの森



佐賀セブンの森

## 「セブンの森」づくり累計活動結果

(2006年度～2022年度)

活動回数	250回
加盟店と本部社員参加人数	14,810名
一般参加人数	7,032名
参加者数合計	21,842名



# 自然学校

「人と自然、自然環境と地域社会の共存・共栄を自然から学ぶ」を基本理念に、大分県玖珠郡九重町と東京都八王子市川町で自然学校を運営しています。



スタッフ集合写真

## くじゅう 九重ふるさと自然学校

九重ふるさと自然学校は、2007年に開校し、ラムサール条約に登録された「くじゅう坊ガツル・タデ原湿原」をはじめとする草原環境の保全や草索性チョウの保全活動、さらにお米も生きものも育む自然共生型の田んぼづくりや地域に根付く伝統野菜の普及・啓発を通して、人と自然が共生する里地里山の保護・保全活動に取り組んでいます。

また「大分セブンの森」として、2021年6月17日(木)飯田高原一帯の環境を守ろうと大分県、九重町、飯田高原野焼実行委員会、セブン-イレブン記念財団の四者が草原および森林において整備・保全に関する協定を締結しました。「セブンの森」として“草原”が対象となったのは初めてであり、草原の大切さや豊かさをたくさんの人たちに知っていただくため、地域の人たちと共に活動を進めてまいります。



大分セブンの森 外来種駆除活動



大分セブンの森 外来種駆除活動

## 体験プログラムと生物多様性

九重ふるさと自然学校ではボランティアの皆さんと共にチョウの種類と個体数を定期的に調べています。その結果、自然学校のフィールドでは草原と雑木林を中心に73種のチョウが生息、そのうち絶滅危惧種が9種



体験プログラム 草原観察会

含まれていることが分かりました。

これら希少なチョウを保全活動の象徴種として、草原の草刈りなどの環境整備を行い、生物多様性の向上を目指すとともに、自然観察プログラムや学校受入れなどの環境学習を通じて、人と自然の共生の重要性を伝えています。



体験プログラム 川の生きものしらべ

## 体験プログラムを通して環境を学ぼう！



体験プログラム 昆虫観察



体験プログラム 門松づくり

週末には、森の中を散策しながらの生きもの観察や、自然素材を使ったクラフトワークショップ、森林整備体験ができるボランティア活動を実施しています。

また「森の音楽祭」や「絵本の森を探検しよう」といった、生きもの以外でも環境教育にアプローチをする体験プログラムにも取り組み、多くの方に様々な環境体験学習を提供しています。

## 高尾の森自然学校

「高尾の森自然学校」は、東京都が初めて民間団体と拠点施設を構えて取り組む協働事業です。

2015年4月に開校し、東京都八王子市川町の約26.5haの都所有の森をフィールドに、貴重な森林を守り、育むことにより脱炭素社会の実現に寄与します。また東京都レッドリストに掲載されている貴重な動植物の保護・保全活動を通して、生物多様性の重要性を体験し学ぶとともに、地域の自然、歴史、文化などを次世代に継承していく人材を育てます。

「高尾セブンの森」は、高尾の森自然学校が開校する前の2014年8月から地元の方と共に、東京都八王子市川町の豊かな自然が残る森を保全する活動を実施してきました。また月2回実施している森林整備活動「森のお手入れボランティア」は2023年2月末までに、計134回実施し、延べ1,333名の方と共に森林整備を行い、森を整備するだけでなく、森づくりの必要性についての講習なども行っています。



スタッフ集合写真



体験プログラム  
ジュニアボランティア



高尾セブンの森 下刈り作業



# 自然のすばらしさを体験し、 環境を考える機会を提供

私たちを取り巻く自然環境の大切さに気づき、その問題について関心を持ち、身近なところから取り組みを始めていただくための広報活動を行っています。



脱炭素チャレンジカップ2023  
(オンライン同時開催)



## 環境イベント支援

### 森林スポーツフェスタ

森林の中で行われるエコスポーツを通して、森の恵みやすばらしさを体感する「北海道森林スポーツフェスタ」に1999年の第2回より特別協賛しています。

### 全国アマモサミットと 海辺の自然再生・高校生サミット

「アマモ」や「アマモ場」を象徴的なキーワードとして、海の自然再生・保全を目指している全国的な大会です。

2008年の横浜大会以来、全国各地の沿岸域が抱える環境問題をテーマに、毎年地域の事例発表や意見交換の場として、全国各地で開催されています。

海的环境改善などをテーマにした「全国アマモサミット」と、その中で、全国の高校生たちがアマモを中心とした海に関する研究発表をする「海辺の自然再生・高校生サミット」の開催を第1回から支援しています。



「全国アマモサミット2022in館山」

### 脱炭素チャレンジカップ(旧:低炭素杯)

日本全国、多様な主体が取り組む脱炭素化に関する活動を表彰する制度を通じ、全国の優れた取り組みのノウハウや情報を共有し、さらなる活動への連携や意欲を創出するしくみと場である「脱炭素チャレンジカップ」を(一社)地球温暖化防止全国ネットと2012年から共催しています。



セブン-イレブン記念財団・最優秀地域活性化賞  
受賞・長野県佐久平総合技術高等学校  
「カスを価値に!〜未来へ佐久酒粕プロジェクト〜」

### 森のようちえん全国交流フォーラム

森の中を学びの場として、子どもの主体性を重んじた保育を行う森のようちえん活動の関係者が集い、情報交換をするフォーラムに2015年の第11回より特別協賛しています。



第17回森のようちえん  
全国交流フォーラムat富士山



## 広報誌『みどりの風』

「人と自然」「自然環境と地域社会」をテーマにした広報誌『みどりの風』を年4回発行しています。





## 地域の環境美化活動支援

### 「スカウトの日」活動を支援しています

次の世代を担う子どもたちが、さまざまな体験を通して環境問題に気づき自らが考えて行動できるよう、環境意識を育てる青少年の環境教育活動を支援しています。

(公財)ボーイスカウト日本連盟が毎年9月の敬老の日(第三月曜日)に実施している全国で一斉に行われる社会貢献活動「スカウトの日」を1994年より継続して全面的に支援しています。



「スカウトの日」活動



「スカウトの日」活動

### 「スカウトの日」の累計結果

(1994年～2022年)

参加団体	32,741団
参加人数	1,334,492名
回収した空き缶	7,456,282本
回収したペットボトル	647,871本

### 「プラごみバスターズ大作戦」を実施しました。

(株)セブン-イレブン・ジャパンと(一財)セブン-イレブン記念財団は、(公財)ボーイスカウト日本連盟が100周年事業として実施する環境保全活動「プラごみバスターズ大作戦」に協力・協賛し、地域の皆様や次世代を担うお子様による全国各地の清掃活動を推進しました。

これは世界中で放棄されたプラスチックごみが、資源循環のサイクルからとり残され、環境汚染の原因となっているこの課題を、誰もが自分ごととして捉

え、プラスチックごみについて学び、課題解決のための行動を起こし、その行動をSNS「ピリカ」を通じて発信していく取り組みになります。

今回は、レジ袋収益金の一部を活用した地域社会の環境保全活動であり、東京都・山口県・滋賀県の3カ所では、セブン-イレブンのオーナーさんや従業員さん、本部社員も一緒に参加しました。



東京会場



山口会場



滋賀会場

**主催** (公財)ボーイスカウト日本連盟

**協力** (株)セブン-イレブン・ジャパン

**協賛** (一財)セブン-イレブン記念財団

**実施期間** 2022年7月11日(月)～11月7日(月)

**河** 9月25日(日) 東京会場 北区赤羽荒川河川敷 参加者127名

**海** 10月16日(日) 山口会場 大島郡周防大島町西方真宮島 参加者164名

**湖** 10月23日(日) 滋賀会場 草津市矢橋町矢橋帰帆島内 参加者187名



# 被災地の自然を 復旧・復元するために

甚大な被害をもたらした東日本大震災の復興支援をはじめ、大規模な地震や火災、台風など自然災害の被災地を復旧・復元するための活動を行っています。



「塩竈セブンの海の森」集合写真

## 塩竈セブンの海の森

### 塩竈セブンの海の森

宮城県の松島湾は多数の島々が点在しており、製塩などを通して海の恵みを受けて発展してきましたが2011年の東日本大震災により、松島湾の環境は激変し、地域の人々を海から遠ざけました。

震災後に海を怖がるようになってしまった子どもたちに、もう一度海の楽しさを体験してもらう機会にするため、宮城県塩竈市と松島湾アマモ場再生会議とセブン-イレブン記念財団の三者で2020年7月に協定を締結しました。

塩竈市北浜緑地護岸沿岸のアマモ場の再生や保全再生活動を実施し、地域の活性化につなげています。



生きもの観察地引き網



アマモの種子選別作業



アマモの花枝採取



海岸清掃活動

## 義援金募金活動

大規模な地震や火災、台風などの深刻な被害が予想される広域災害発生の際は、セブン-イレブン店頭には設置されている募金箱のステッカーを貼り替え、義援金募金活動を行っています。お客様からのご厚意は、心を込めて被災地へお届けしています。

### 2022年度(令和4年度)義援金募金活動

●令和4年ウクライナ難民緊急支援募金

**2億6115万9467円**

(募金期間3/9～4/30 全国21,318店のセブン-イレブンで実施)

# 2022年度 活動報告

※2022年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン開催や参加人数を制限して活動を実施しました。

2022年		
3月	14日	2021年度店頭募金総額ポスター 加盟店掲示開始 (3/14～3/27)
4月	2日	第5回「山梨セブンの森」 21名参加 地拵え・山道整備
	9日	第12回「佐賀セブンの森」 16名参加 竹林整備 (竹の伐採と搬出)
	23日	第17回「宮城セブンの森」 47名参加 ミズキの補植 (108本)
5月	14日	第3回「大分セブンの森」 46名参加 外来植物オオハンゴンソウの駆除
	14日	第29回「高尾セブンの森」 71名参加 沢地周辺の笹刈り・倒木処理
	14日	第4回「霧多布セブンの森」 15名参加 植樹後の活着率調査・記念植樹
	28日	第8回「長野セブンの森」 60名参加 コブシ、ナナカマド、ヤマボウシの補植 (全60本)・固定紐の撤去
	29日	第15回「東京湾UMIプロジェクト」 45名参加 アマモの花枝採取・アマモ場の生きもの観察
6月	4日	第6回「福井セブンの森」 38名参加 下刈り・支柱取り付け
	5日	第3回「館山セブンの海の森」 120名参加 タブノキの植樹 (80本)・育木活動・海岸清掃
	12日	第8回「阪南セブンの海の森」 98名参加 海岸清掃・アマモの花枝採取・アマモ場の生きもの観察
	18日	第4回「塩竈セブンの海の森」 82名参加 海岸清掃・アマモの花枝採取・アマモ場の生きもの観察
	18日	第9回「三重セブンの森」 56名参加 下刈り・支柱撤去
	25日	第9回「茨城セブンの森」 102名参加 下刈り・伐採した樹木の搬出
	7月	10日
	11日 ～ 11/7	(公財)ボーイスカウト日本連盟との社会貢献 活動「スカウトの日」に協賛 ボーイスカウト日本連盟創立100周年記念事 業「プラごみバスターズ大作戦」を全国で開始

2022年		
7月	16日	第2回「青森セブンの海の森」 65名参加 海岸清掃・アマモの花枝採取・アマモ場の生きもの観察
9月	10日	2022年度助成金合同セミナー オンライン開催 145名参加
	10日	第18回「宮城セブンの森」 39名参加 下刈り
	15日	2023年度環境市民活動助成ポスター掲示開 始 (9/15～9/30)
	15日	2023年度環境市民活動助成受付開始 「地域美化助成」9/15～10/5 「活動助成」「NPO基盤強化助成」10/11～10/31
	25日	(公財)ボーイスカウト日本連盟「プラごみバ スターズ大作戦」に協賛 東京都北区赤羽荒川河川敷にて開催 127名参加
10月	1日	第13回「佐賀セブンの森」 12名参加 竹林整備 (竹の伐採、玉切り)・看板設置
	10日	北海道森林スポーツフェスタin支笏湖に特別 協賛 暴風雨予報により開催中止
	15日	第3回「青森セブンの海の森」 44名参加 海岸清掃・アマモの種子選別・播種・アマモ場 の生きもの観察
	15日	第9回「長野セブンの森」 45名参加 コブシ、ナナカマド、ヤマボウシの補植 (全180本)・下刈り
	16日	(公財)ボーイスカウト日本連盟「プラごみバ スターズ大作戦」に協賛 山口県大島郡周防大島町西方真宮島にて開催 164名参加
	22日	第10回「茨城セブンの森」 89名参加 下刈り、枯れ草の運び出し
	22日	第5回「霧多布セブンの森」 23名参加 海岸清掃・木道整備
	23日	(公財)ボーイスカウト日本連盟「プラごみバ スターズ大作戦」に協賛 滋賀県草津市矢橋町矢橋帰帆島内にて開催 187名参加
	29日	富士山保全活動 129名参加 富士市前田地先 ふじのくに田子の浦みなと 公園の海岸清掃

2022年	
10月	29日 第30回「高尾セブンの森」 13名参加 沢地周辺の笹刈り・チップ処理
	30日 第17回「森のようちえん全国交流フォーラム at富士山」に協賛
	28日 ～ 30日 第14回「全国アマモサミット・海辺の自然再生・高校生 サミットinたてやま」に協賛
11月	5日 第6回「山梨セブンの森」 84名参加 看板設置・カツラ、エンジュ、ヤマモミジ、ヤマザクラ、ケヤキの植樹（全50本）
	9日 「埼玉セブンの森」環境保全活動 協定締結式開催
	9日 第5回「塩竈セブンの海の森」 22名参加 アマモの種子選別・播種
	12日 第7回「福井セブンの森」 55名参加 下刈り
	12日 第4回「館山セブンの海の森」 115名参加 アマモの種植え・海岸清掃
	19日 第18回「広島セブンの森」 92名参加 ミツバツツジの植樹（50本）・下刈り・清掃活動

2022年	
11月	26日 第9回「阪南セブンの海の森」 90名参加 海岸清掃・アマモ場再生活動（播種）・アマモ場の生きもの観察会
	26日 第10回「三重セブンの森」 80名参加 ヤマザクラの植樹（1本）・散策道整備（砂利敷き、床材運搬、木橋づくり）
	27日 第7回「滋賀セブンの森」 184名参加 湖畔清掃・小さな自然再生
12月	1日 第31回「高尾セブンの森」 25名参加 沢地周辺の笹刈り・チップ処理
	3日 第1回「埼玉セブンの森」 58名参加 カワラナデシコの植栽（10株）、ヨシの運び出し、オギの移植、モニタリング調査、看板設置
	7日 ～ 9日 エコプロダクツ展に出展 東京ビッグサイト 東ホールにて
2023年	
2月	16日 第13回「脱炭素チャレンジカップ」 オンライン同時開催に共催

## TOPICS セブン-イレブン記念財団が「ボーイスカウト日本連盟 創立100周年記念式典」にて、特別表彰を受けました。

セブン-イレブン記念財団は、1994年より公益財団法人ボーイスカウト日本連盟とパートナーシップ協定を結んでおり、毎年9月の全国一斉環境美化活動「スカウトの日」を中心に継続して取り組みを重ねてまいりました。

2022年においては、ボーイスカウト日本連盟創立100周年記念事業として実施する環境保全活動「プラごみバスターズ大作戦」にセブン-イレブン記念財団として協賛し、地域の皆様や次世代を担うお子様による全国各地の清掃活動を推進しました。

※くわしくは25ページをご覧ください。



向かって右からセブン-イレブン記念財団 山本理事長、太田副理事長

### 創立100周年記念特別表彰 概要

- ◆表彰式 日時：2022年11月26日（土）  
場所：明治神宮会館
- ◆表彰内容 ボーイスカウト日本連盟より、長年にわたる継続的な支援と特に顕著な功績を残した団体に対し、創立100周年を記念して行う表彰



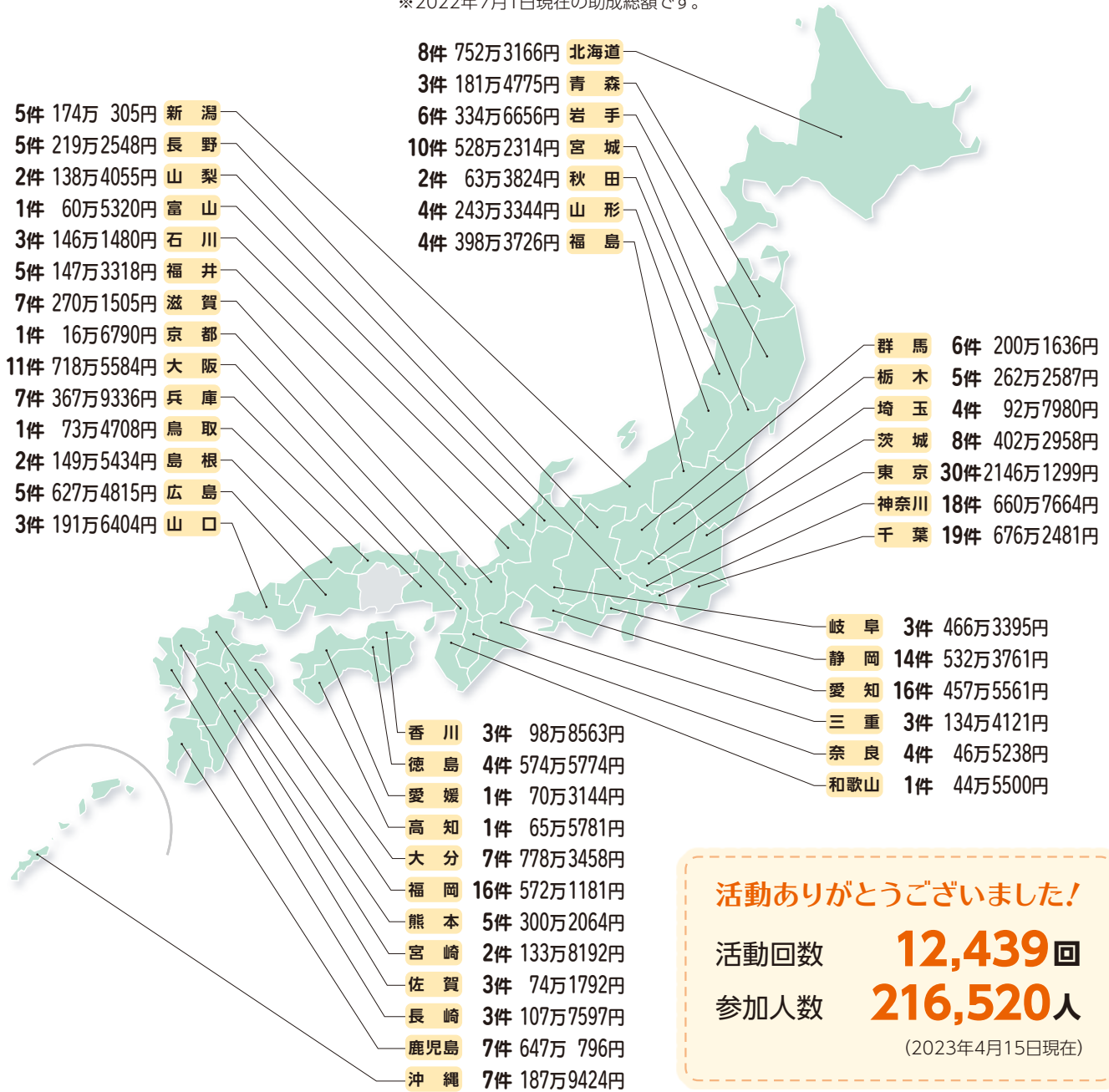
感謝状写真

# 2022年度「環境市民活動助成」都道府県別助成総数と助成総額

※2020年度、2021年度、2022年度の継続助成を含みます。

助成総数 **285件** 助成総額 **1億5536万1354円**

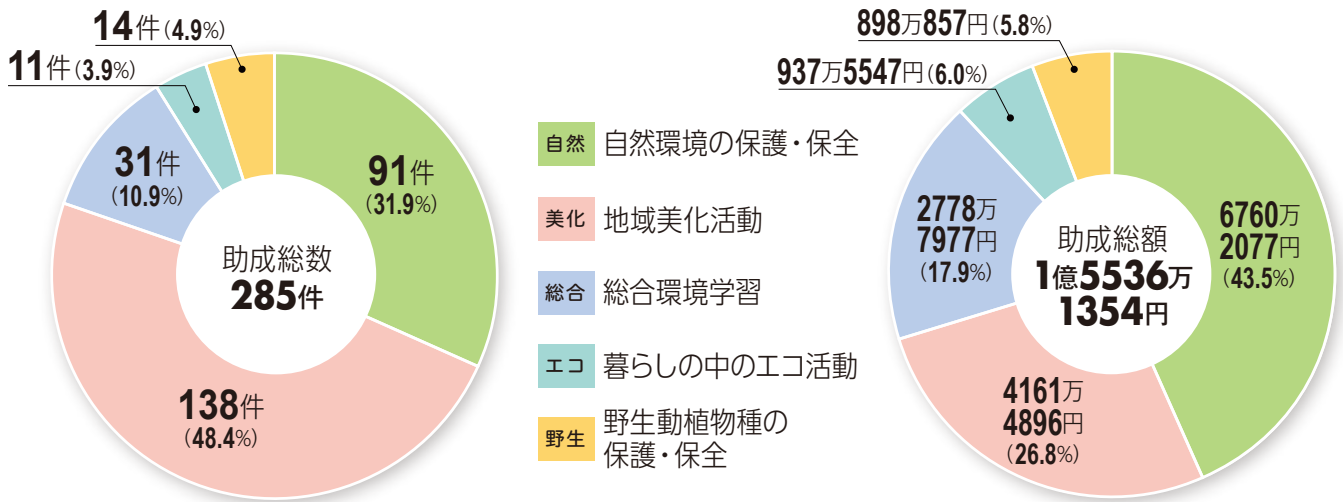
※2022年7月1日現在の助成総額です。



## 2022年度「環境市民活動助成」(複数年継続を含む)

助成の種類	応募		単年度の助成決定		複数年継続を含む助成決定	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
設立25周年記念 2019年度限定「山の森・ 海の森づくり」助成(4年目)	—	—	—	—	20件	6,982,258円
NPO基盤強化助成	26件	93,083,751円	4件	15,999,750円	11件	43,127,099円
活動助成	217件	137,447,422円	116件	63,637,101円	116件	63,637,101円
地域美化助成	148件	46,773,599円	138件	41,614,896円	138件	41,614,896円
合計	391件	277,304,772円	258件	121,251,747円	285件	155,361,354円

## 2022年度「環境市民活動助成」活動分野別助成総数と助成総額



## これまでの「環境市民活動助成」結果(2001年度～2022年度)

**助成総数 4,635件**      **助成総額 27億 1690万 2184円**

※助成決定時のものです。 ※現物支給の助成も含まず。 ※助成総数と助成総額は、複数年継続して助成する団体を含みます。

年度	単年度の助成		年度の助成(複数年継続を含む)	
	件数	金額	助成総数	助成総額
2022年度	258件	121,251,747円	285件	155,361,354円
2021年度	246件	121,153,791円	272件	138,350,724円
2020年度	242件	88,656,491円	269件	111,063,824円
2019年度	285件	119,253,140円	289件	133,402,934円
2018年度	264件	127,827,840円	271件	153,957,167円
2017年度	293件	133,815,020円	302件	167,417,785円
2016年度	294件	152,944,496円	304件	182,454,549円
2015年度	254件	142,276,318円	264件	169,311,877円
2014年度	253件	149,515,421円	268件	175,668,971円
2013年度	245件	129,028,445円	260件	155,948,445円
2012年度	131件	101,421,086円	139件	126,206,886円
2011年度	232件	145,726,773円	240件	158,980,713円
2010年度	210件	130,634,996円	224件	143,010,489円
2009年度	237件	121,235,814円	251件	134,927,614円
2008年度	180件	103,748,981円	191件	119,240,461円
2007年度	151件	90,045,085円	161件	103,382,710円
2006年度	101件	73,727,319円	112件	83,690,039円
2005年度	82件	57,400,089円	94件	72,330,059円
2004年度	113件	53,571,573円	119件	63,521,573円
2003年度	136件	71,395,401円	136件	71,395,401円
2002年度	96件	49,643,022円	96件	49,643,022円
2001年度	88件	47,635,587円	88件	47,635,587円
<b>合計</b>	<b>4,391件</b>	<b>2,331,908,435円</b>	<b>4,635件</b>	<b>2,716,902,184円</b>

# 2022年度(令和4年度)都道府県別助成先団体・活動内容一覧

※採択後の辞退含む

## 北海道

都道府県	助成先団体名	活動内容	分野
北海道	NPO法人 北海道市民環境ネットワーク	北海道の環境市民活動の支援を目的としたネットワークの構築(略称:きたネット)	基盤
北海道	認定NPO法人 霧多布湿原ナショナルトラスト	霧多布湿原を次世代に引き継ぐためのナショナルトラスト運動	自然
北海道	厚岸町民の森造成実行委員会	町民の手によって広葉樹主体の植樹を行う	自然
北海道	NPO法人 いぶり自然学校	森のようちえんと、生きづらさを感じている若者による里山畜養	自然
北海道	サロベツでのびのび育てるママの会	サロベツの自然に幼少期から親しみ、大切に思う心を育む環境教育	総合
北海道	NPO法人 いきものいんく	環境教育を柱とした、生きる力を養う短期フリースクールの開校	総合
北海道	標茶町花いっぱいコスモス推進会議	標茶駅前花壇と標茶町開発センター花壇への植花・管理	地域美化
北海道	根室ワイズユースの会	市民協働による清掃活動に取り組む	地域美化
北海道	利尻町みどり豊かなまちづくり推進委員会	花いっぱい運動(町内の植樹帯やプランターへの花の植栽)	地域美化
北海道	NPO法人 北海道鉄道文化保存会	「花と鉄道の散策路」を観光スポットとしてレベルアップを図る	地域美化
北海道	NPO法人 はちどりプロジェクト	学校給食の廃油を活用した石けん教室から、環境保全に繋げる	エコ

## 東北

都道府県	助成先団体名	活動内容	分野
青森	NPO法人 あおもりみなとクラブ	藻場再生と自然環境保全、SDGs理解度向上及び地域愛着醸成	自然
青森	NPO法人 白神山地を守る会	白神山地における広葉樹の苗木育成事業	自然
青森	七戸山桜の会	山桜の植栽で地域活性化を目指し、自然環境の保護保全の活動実施	自然
青森	NPO法人 青森県環境パートナーシップセンター	第6回むつ湾の絵コンクール開催とむつ湾を守る学びと体験活動	自然
岩手	NPO法人 遠野エコネット	ゆたかな森づくりと森林資源を活かした地域づくり	自然
岩手	立瀬川を愛する会	河川及び周辺の清掃(草刈り・ごみ拾い)及び桜の木の植樹	地域美化
岩手	和村ソフトボールクラブ	当地域内の大船渡斎苑入口の花壇を年間を通して整備する	地域美化
岩手	北浜老人クラブ	当地区内の「道路花壇」及び新しく設置された花壇への苗木植栽	地域美化
岩手	大船渡市末崎町ラベンダー畑保存会	花の維持管理を行い市の観光資源の保持と制作材料の提供に資する	地域美化
岩手	岩手山麓自然学校	山から里へ岩手山麓でのトネリコ雑木林の再生による希少蝶保護	野生
宮城	松島湾アマモ場再生会議	アマモの移植と市内唯一の海に触れる空間の環境づくりと清掃	復興
宮城	NPO法人 しんりん	「森と人間が調和・共生する森づくり」事業と、持続可能な新しい林業の構築	自然
宮城	蕃山21の会	蕃山およびこれに連なる山々の豊かで優れた自然環境の保全活動	自然
宮城	みやぎっ子『食』・『農』くらぶ	東日本大震災復興地を利用した親子の農作業・環境体験活動	総合
宮城	NPO法人 海の自然史研究所	北上ネイチャーパークづくり step1 生物相情報把握と活用試行	総合
宮城	ごみゼロ岩沼	市内5ヶ所を6ヶ月に一回ずつ清掃活動する(年10回活動する)	地域美化
宮城	坂元グリーンサポートクラブ	震災移転地の新市街地公共緑地の緑化・環境整備活動	地域美化
宮城	錦ヶ丘花と緑の会	錦ヶ丘の主要な花壇(3箇所)の花壇づくり(花植えと管理)	地域美化
宮城	化女沼2000本桜の会	化女沼ダム湖畔の定例美化活動、花木の植樹と維持管理	地域美化
宮城	小泉ユニバーサルビーチユニット	ビーチ・リパークリーン&花咲く地域づくり活動	地域美化
宮城	黄金自治会	国道346号沿花壇3カ所に花を植え管理し、歩道等の清掃活動	地域美化
宮城	雁の里親友の会	地域住民のガン類調査参加による普及啓発	野生
秋田	庭じかん	ゴミステーションから明るい景観を地域一体型でつくる交流活動	地域美化
秋田	城南苑町内会	城南苑町内会ふれあい活動	地域美化
山形	一般社団法人 やまがた福わたし	食品を大事に分け合おう!フードドライブ	エコ
山形	NPO法人 公益のふるさと創り鶴岡	鶴岡市ケヤキの森の保全活動	自然
山形	鶴岡コミュニティガーデン	鶴岡市とぼり広場および周辺道路花壇の美化活動	地域美化
山形	マイ夢の花の里づくりクラブ	マイ夢の里に植花と緑化により環境の美化と心やすらぐ地域づくり	地域美化

福 島	NPO法人 ザ・ピープル	衣と食の無駄をなくす フード&クロージングバンク推進事業	エコ
福 島	下柴行政区	姥堂川のフラワーロード設置活動	地域美化
福 島	日立木6号花壇ボランティア	日立木地区にある6号国道の花壇(8区画160m)の整備	地域美化
福 島	小名浜まちづくり市民会議	小名浜本町通り緑化と富ヶ浦公園美化整備	地域美化

## 関東

都道府県	助成先団体名	活動内容	分野
茨 城	ホタルネットワークmito	逆川緑地、水戸英宏の森とともに河畔林の再生と子供たちの環境学習会	自然
茨 城	竜ヶ井城山の会	竜ヶ井城跡地・百貴石登山道整備、関連施設の設置、山桜の植林	自然
茨 城	NPO法人 こが里山を守る会	立ち枯れ・倒木伐採、伐採材を薪材に加工・市民参加の桜植樹活動	自然
茨 城	古徳沼の自然を守る会	古徳沼の自然保全と里山整備活動	自然
茨 城	NPO法人 茨城県南生活者ネット	龍ヶ崎やまびこ自然園の環境保全と自然環境体験学習の場の運営	総合
茨 城	下妻市花のまち推進ボランティアクラブ	市内県道沿い緑地帯における植栽管理活動(花の植替え作業)	地域美化
茨 城	額田城跡保存会	額田城跡の保護・保存のための奉仕作業、文化財行政への協力	地域美化
茨 城	小貝川・花とふれあいの輪	小貝川堤の荒地を花の公園に変える環境美化の実践と啓発活動	地域美化
茨 城	砂沼環境連絡協議会	砂沼における貴重な水生植物の保護増殖活動	野生
栃 木	渡良瀬遊水池を守る利根川流域住民協議会	渡良瀬遊水池自然保全と保護活動	自然
栃 木	金丸雷神社周辺里山保存会	里山維持管理保護として斜面整備、樹木伐採、植林、下草刈り等	地域美化
栃 木	米山南町会 花づくり倶楽部	地域の公園に花壇を作り花を植栽し地域を明るくします	地域美化
栃 木	日光茅ポッチの会	土呂部草原希少植物保全活動	野生
群 馬	NPO法人 ふるさと再生ネットワーク	地域資源を活用したグリーン・ツーリズムによる地域の活性化	自然
群 馬	まちづくりを考える研究グループ	プランターの花の植え替えとボートでの川下り体験	地域美化
群 馬	NPO法人 ホワイトベル	世界かんがい施設遺産をみんなで大切に守りましょう	地域美化
群 馬	NPO法人 思いをつなぐ会	みんなの町の環境美化活動	地域美化
群 馬	八寸の会	絶滅してしまったアマドコロを殖蓮中学校の生徒と共に植栽する	地域美化
群 馬	赤城姫を愛する集まり	群馬県指定天然記念物ヒメギフチョウの調査および普及活動	野生
埼 玉	NPO法人 つるがしま里山サポートクラブ	今年開設の太田ヶ谷の森を市民に親しまれる里山として整備する	自然
埼 玉	笹目川の環境を守る会	笹目川の環境保全活動に取り組み、まちづくりの推進に寄与する	自然
埼 玉	福岡中央公園を愛し育てる会	四季を感じる憩いと品格の有る都市公園を目指す、年間事業活動	地域美化
埼 玉	東狭山ヶ丘美化協議会	西武池袋線狭山ヶ丘駅東口緑化地帯の花植え及び除草・清掃活動	地域美化
千 葉	NPO法人 たてやま・海の鑑定団	館山市の沖ノ島を主なフィールドに海や森などの自然を知り守る活動	自然
千 葉	NPO法人 緑の環・協議会	違法山砂採取により皆採された森を元の水源涵養林に戻す活動	自然
千 葉	プリサ	荒廃した森林や竹林を再生し、多面的な機能を維持する	自然
千 葉	東京屋敷林ネットワーク	東京に残された希少な屋敷林を保全・啓発する活動	自然
千 葉	行々林せせらぎの森	森林・竹林・田畑・水辺と生物多様性豊かな景観を創出し維持する	自然
千 葉	NPO団体 令和の杜	採土残置林へ桜やマンジュシャゲを植え人々が憩い癒しの里山整備	自然
千 葉	市原ルネッサンス	小湊鉄道線飯給駅を中心とした環境美化を行う里山活動	自然
千 葉	NPO法人 環境カウンセラー千葉県協議会	大多喜町環境教育プログラム わくわく探検隊～自然となかよし～	総合
千 葉	しかはま自然観察会のらえもん	3年次里山の魅力発見—都市と里山との双方向の価値を見つけ—	総合
千 葉	NPO成田さくらの里	成田空港と成田山を結ぶ取香川へ曼珠沙華を植え赤い線(糸)!	地域美化
千 葉	我孫子市景観形成市民会議	我孫子の重要な景観軸である「ハケの道」環境を守り育てる活動	地域美化
千 葉	グリーンレンジャー	葛、雑草、雑木、笹竹等の除去による水辺景観の回復	地域美化
千 葉	習志野の海を守る会	東京湾奥の海辺の保全活動と子供たちへの環境教育を行う	地域美化
千 葉	NPO大須賀川河童会	旧国道356号沿の遊休地の花畑と畦道へ昔からの植物復活と清掃	地域美化
千 葉	ひよしグリーンロード再生会	日吉台中央通り植樹帯の花植え及び植栽活動	地域美化
千 葉	八千代花と緑の応援団	八千代市内を市の花「バラ」でいっぱいにして	地域美化
千 葉	光風台・花と緑の会	光風台5丁目法面の植樹管理と花壇及びミニ花壇の草取と植栽	地域美化
千 葉	緑が丘西自治会	緑が丘西地域コミュニティづくり	地域美化
千 葉	みらいスマイルコミュニティーズ	緑が丘クリーンプロジェクト	地域美化
千 葉	花の池くらぶ	花の池の環境美化、花の植栽管理により憩いの場とし充実させる	地域美化



千葉	NPO法人 印旛沼広域環境研究会	印旛沼在来水草(アサザ)の保全育成	野生
東京	東京湾再生官民連携フォーラム	東京湾再生のための「江戸前」の再興、生き物生息場の再生、「東京湾大感謝祭」の開催	自然
東京	枯れ沢復活&ホテルを飛ばす会	森林の土中環境改善をして枯れた沢を復活させ、ハルを呼び戻す	自然
東京	NPO法人 ふるさとの森づくりセンター	災害対応教育団体、地元自治会等と連携した災害に強い里山再生	自然
東京	池の沢に虫を増やす会	虫の生息地である水辺環境を守るため里山保全活動を行っている	自然
東京	一般社団法人 きくっと	住宅街に囲まれた雑木林で子どもたちが四季を通して自然体験	自然
東京	長池里山クラブ	雑木林の小面積皆伐更新と炭焼きを中心にした里山循環系の持続	自然
東京	22世紀の森づくり・神代	森の保全管理作業、植物調査、イベントを通して地域との交流	自然
東京	葛西東渚・鳥類園友の会	葛西臨海公園内の植生保護活動の推進	自然
東京	NPO法人 銀座ミツパチプロジェクト	持続可能な循環型社会・地域共生の構築	自然
東京	狛江水辺の楽校運営協議会	多摩川の環境保全清掃と環境学習教材づくり	総合
東京	NPO法人 海に学ぶ体験活動協議会	海あそび安全講座の指導者養成、安全講座ハンドブック印刷・配布	総合
東京	パウロの森くらぶ	地域が育んだパウロの森の豊かな自然や文化を次世代につなげる	総合
東京	つくし野ビオトーププロジェクト	大都市近郊住宅地で子供と保護者のための総合的・体験的環境学習	総合
東京	NPO法人 森のようちえん全国ネットワーク連盟	自然の中で育む環境教育、保育指導者養成活動	総合
東京	NPO法人 くにたち 農園の会	都市農地・里山環境を活用した野外放課後児童クラブモデル事業	総合
東京	パークシティ豊洲園芸クラブ	晴海通り沿いの桜並木に花壇を作り、周辺住民や子供たちと交流	地域美化
東京	豊洲シーサイドガーデン	江東区のコミュニティガーデンの維持管理	地域美化
東京	小田野中央公園まちづくりの会	公園内の草刈り、低木の剪定等の整備及び花壇の植栽・手入れ	地域美化
東京	唐木田コミュニティセンター運営協議会	「花いっぱい運動」でつくる“絆”と称する植花育成活動	地域美化
東京	NPO法人 渋谷さくら育樹の会	渋谷さくら通り植栽推進活動(フラワーロードプロジェクト)	地域美化
東京	水川台自治会	花壇とプランターに花を植える	地域美化
東京	ハッピーおもてなしガーデン豊洲6	江東区のコミュニティガーデンの維持管理、及び美化活動	地域美化
東京	とよ花の会	毎朝9時半、都道と区道と公園のゴミ拾いと花壇の手入れ	地域美化
東京	川場美しいマチ研究会	都市民と農村民の交流による、農村風景の修景を目指した植花活動	地域美化
東京	DEXTE-K	西なぎさ発：東京里海イイド	地域美化
東京	北四国町会 芝のはらっぱ実行委員会	地域住民と共に緑と花を通じた地域交流拠点を作る過程を先導する	地域美化
東京	エンジョイハーブの会	公園で季節の花とハーブの花壇作り	地域美化
東京	南大沢4-15自治会	都営団地の循環式環境整備	地域美化
東京	南泉公園グリーンクラブ	目黒区元競馬南泉公園での緑化活動を通じた安心安全なまちづくり	地域美化
東京	なでしこの会	道路に花を植え、手入れする人も見る人も同じ気持ちで楽しむ街作り	地域美化
東京	NPO法人 生態教育センター	葛西臨海公園における水生生物の生息・繁殖環境の保全	野生
神奈川	NPO法人 緑のダム北相模	FSC(森林管理協議会)の精神に沿い、新しい森林創生事業を創出する事業を支援	自然
神奈川	NPO法人 四十八瀬川自然村	放置人工林・雑木林の整備、間伐材活用・木炭・薪・椎茸栽培	自然
神奈川	水沢森人の会	市街地に残る約5haの里山環境保全のため森林、水辺、畑の管理	自然
神奈川	NPO法人 相模原こもれび	相模原市木もれびの森73haのうち14.5haで保全活動	自然
神奈川	北鎌倉湧水ネットワーク	六国見山の里山再生活動	自然
神奈川	景観まちづくり研究会・葉山	都市公園 南郷上ノ山公園内 斜面緑地の保全・整備活動	自然
神奈川	かながわふおれ☆'s	手入れ不足の人工林を整備し、良好な水環境を育む森林へ導く	自然
神奈川	谷戸川渓谷をきれいにする会	谷戸川エリアの河川、町道およびその周辺の環境整備と紹介	自然
神奈川	認定NPO法人 神奈川海難救助隊	東京湾全海域浮遊ごみゼロ作戦2022	自然
神奈川	くずはの家ボランティアの会	自然観察施設くずはの広場内の環境整備、生物多様性の保全活動	自然
神奈川	NPO法人 鶴見川流域ネットワーク	鶴見川流域環境学習支援	総合
神奈川	NPO法人 水無川芝桜の会	芝桜の植栽により魅力ある観光地として周辺地域の誘客促進をする	地域美化
神奈川	南足柄市姉妹都市交流協会	市内地域公民館の花壇に、毎年チューリップ球根を植栽している	地域美化
神奈川	湘南桂台みどりの会	湘南桂台花と緑でいっぱいのもちづくり	地域美化
神奈川	花でまちを活性化する会	チューリップやひまわりなどを植栽し、摘み取り体験を行う	地域美化
神奈川	水仙の会	水仙ロードづくり(水仙の植え付け)	地域美化

神奈川	ひだまり坂管理運営実行委員会	ひだまり坂の花壇を整備し、通学の安全と住民の憩いの場所とする	地域美化
神奈川	横浜メダカの会	横浜固有の黒メダカの保存、子供たちへの啓発、ピオトーブづくり	野生

## 北信越

都道府県	助成先団体名	活動内容	分野
新潟	一般社団法人 いいがたヨガ協会	風土を生かして人を育む 日本海ビーチライフ盛り上げ隊!	自然
新潟	NPO法人 新潟水辺の会	鳥屋野潟の潟守、潟ジュニアリーダー育成プロジェクト	総合
新潟	みずほ花華会	町内周辺の緑地帯の開墾や花壇の拡張・維持管理	地域美化
新潟	NPO法人 しろやまの会	毎月2.3回の新潟市中央区西海岸公園の清掃	地域美化
新潟	塩谷分校	集落入口の県道の脇、約400mに花の苗を植える	地域美化
富山	小菅沼・ヤギの杜	ふれあい広場整備と三百山遊歩道の整備	自然
石川	NPO制服バンク石川	「制服バンク」で制服ロス削減	エコ
石川	千路老人クラブ	環境美化と地域住民の安らぎの場づくり・老人クラブ活動の一環	地域美化
石川	ポレポレ自然環境観察会	いしかわの砂浜地での絶滅危惧種イソスミレ等の保護・保全活動	野生
福井	清水北地区里山の会	里山のPR、散策路の整備、パンフレット作製	自然
福井	赤坂森づくりの会	地元の孟宗竹林の整備で伐採する竹材を有効に活用する	自然
福井	福井市自然体験交流推進協議会	2022ふくいさとやま農村学校	総合
福井	あわら市エコ市民会議	地域と人をめぐるグリーンカーテン	地域美化
福井	ハーモニーガーデンクラブ	新保公園にみんなが集う花いっぱい広いガーデンエリアを作る	地域美化
山梨	認定NPO法人 富士山クラブ	富士山地域での総合的な環境活動	自然
山梨	NPO法人 自然とオオムラサキに親しむ会	オオムラサキの棲める里山林再生と保全	自然
山梨	NPO法人 きらきら星	森のようちえん活動、環境学習活動、里山保全活動	総合
長野	NPO法人 F.O.P	里山森林と永続的に関わる場所づくり・育成	自然
長野	NPO法人 エコラ倶楽部	森林の整備及び環境保全活動の普及・啓発活動	自然
長野	上横道自治会	県道傍陽～菅平線1800m他の草刈りと清掃	地域美化
長野	沖1班有志会	国道152号線沿い緑地帯・歩道の草刈り・剪定・清掃	地域美化
長野	花仲間	町にある五か所の花壇の花植えならびに管理作業	地域美化

## 中部・東海

都道府県	助成先団体名	活動内容	分野
岐阜	Komorebi	森の整備をしながらSDGsの視点で環境問題を考える座談会開催	自然
岐阜	NPO法人 活エネルギーアカデミー	森林保全・間伐材の利活用と定期物流システム・地域通貨の発行等	自然
岐阜	いびNPO法人 連絡協議会	揖斐川流域クリーン大作戦と植樹活動	地域美化
静岡	NPO法人 林 林 林	森林保全及び中山間地域活性化による関係人口増加拠点作り	自然
静岡	認定NPO法人 時ノ寿の森クラブ	民有林を人と森を結ぶプラットホームとし社会みんなで利用し守る	自然
静岡	NPO法人 高原倶楽部	放置竹林整備、農業体験(休耕地利用)、地域イベント参加	自然
静岡	二ツ池櫻と蓮の保勝会	二ツ池周辺区域の樹木等と蓮の管理	自然
静岡	佐鳴湖シジミプロジェクト協議会	ヤマトシジミ自然繁殖に取り組み佐鳴湖の自浄作用を高める	自然
静岡	海辺工房ひとで	海の生き物となかよくなるう!	自然
静岡	佐鳴湖いきもの調査会	ゆたかな佐鳴湖を知る市民調査	自然
静岡	NPO法人 海プラスSOU	「里海の再生」として、アマモ場やガラモ場等の再生・保護活動	自然
静岡	舞阪の自然を守る会	干潟「いかり瀬」に自生する海浜植物を保護し観察会等の啓蒙活動	自然
静岡	興津川保全市民会議	清水地域の興津川の水質及び周囲の自然保護を目的とした環境教育	総合
静岡	NPO法人 Earth Communication	アース・キッズ&ファミリー・プログラム～海辺の探検隊～	総合
静岡	NPO法人 風	うるいがわたんけんたい	地域美化
静岡	花サポーターみしま	三島中心市街地の花飾りの維持管理および植替作業を行っている	地域美化
静岡	NPO法人 浜松市東区の自然と文化を残そう会	静岡県内の絶滅危惧種1A類のカワバタモロコシの保護活動	野生
愛知	NPO法人 地域の未来・志援センター	東海3県の環境市民活動の支援を目的としたネットワーク構築活動	基盤
愛知	とうえい木の駅実行委員会	とうえい木の駅プロジェクト	自然
愛知	NPO法人 全日本竹水鉄砲合戦協会	竹水鉄砲合戦を用いたカーボンニュートラルへの取り組み	自然

愛知	NPO法人 SEA藻	藻場再生を目的とした磯焼け要因生物(ウニ類)の駆除活動	自然
愛知	山崎川グリーンマップ	都市河川・山崎川の在来種保護と地元子どもたちへの環境教育	自然
愛知	環境ボランティアサークル亀の子隊	きれいな海を守る心を広げるためのプロジェクト	総合
愛知	とよた自然わくわくクラブ	体験学習を通して自然を知り、自然の大切さを学んでもらう活動	総合
愛知	大口町北地域自治組織	大口町内4か所で春・秋の2回地域の方々と花植え活動を行う	地域美化
愛知	徳重学区連絡協議会	道路、公園、扇川緑道(河川敷)の花植え・清掃	地域美化
愛知	山口地域まちづくり協議会	山口地域清掃活動	地域美化
愛知	長根花の友の会	地域住民が花作りを通じて絆を深め住みよい街づくりを行う	地域美化
愛知	長根第一クラブ花の友の会	花壇の花植え、清掃、市内の一番大きな交差点横の歩道脇の花壇	地域美化
愛知	里山センチュリー	本證寺周辺の里山風景を生かし次世代に花育を伝えたい!	地域美化
愛知	がまごおり花フル会	観光交流立市のわが町を人・花・緑で魅力的な町にする	地域美化
愛知	やろまいか!愛・地グリーン作戦実行委員会	やろまいか!愛・地グリーン作戦	地域美化
愛知	小幡緑地公園サンサン会	県営小幡緑地公園西園にある花壇の管理、花の植替、除草、清掃	地域美化
愛知	新郷地域力推進協議会	さとの家周辺に花を植え管理し利用者、通行者に楽しんでいただく	地域美化
三重	NPO法人 もりずむ	「森をつくる・いかす・つなぐ」事業と付加価値を高めた木材による持続可能な林業の確立	自然
三重	認定NPO法人 森林の風	里山等森林総合施策・再生活動、森林施策研修会・森林環境教育等	自然
三重	NPO法人 竜の森林	里山林保全、炭焼体験、森林浴等による地域の活性化を進める	自然
三重	一般社団法人 海っ子の森	海岸漂着海藻等の再資源化で海の豊かさを伝える取り組み	エコ

## 近畿

都道府県	助成先団体名	活動内容	分野
滋賀	淡海を守る釣り人の会	釣り人が主体となって行う流域の方との琵琶湖清掃活動	自然
滋賀	白鳥川の景観を良くする会	白鳥川の桜並木整備で、市民憩いの散策路作りと環境学習支援	地域美化
滋賀	葉山川環境美化推進委員会	葉山川堤防の環境保全活動に取り組みます	地域美化
滋賀	NPO法人 花と観音の里	まちなかよし花壇プロジェクト	地域美化
滋賀	NPO法人 家棟川流域観光船	家棟川流域のゴミ清掃活動を地域住民と協働で取り組む	地域美化
滋賀	久野部東 お助け隊	地域交流活性化をめざし交流拠点の整備、及び交流イベント支援	地域美化
滋賀	野田町まちづくり委員会	地域美化・植花活動を通じた農村景観保全と三世代交流の振興	地域美化
滋賀	奄美大島におけるサンバ越冬個体群の保全対策推進調査実行委員会	奄美大島におけるサンバ越冬個体群の保全対策推進調査	野生
京都	藪の竹ぼうき	物集女竹林道の掃除・間伐竹を使用した竹ぼうき作り	地域美化
大阪	NPO法人 近畿環境市民活動相互支援センター	近畿2府4県の環境活動の支援を目的としたネットワークの構築活動(通称:エコネット近畿)	基盤
大阪	大東環境みどり会	荒廃した市有地を自然に親しみ、交流できる憩いの里山に再生する	自然
大阪	NPO法人 ナック	荒廃が進む里山林の再生と竹林整備及び利活用促進プロジェクト	自然
大阪	みさき里山クラブ	子育ての森へ 子育て世代とシニアが取り組む里山の保全と活用	自然
大阪	NPO法人 大阪湾沿岸域環境創造研究センター	漁業と福祉との連携(漁福連携)による地域自然・文化の継承	自然
大阪	チーム☆ガサ	大阪湾でのガサを通じて自然の重要性・魅力を普及啓発する	自然
大阪	津之江公園を活かす会	津之江公園自然再生エリアの維持管理、学習活動	自然
大阪	なにわエコ会議	淀川河口付近で、漁業体験、野鳥観察を行う	総合
大阪	寺みどり会	空き地を開墾して草花を育て、年2回は缶ゴミ拾いを実施する	地域美化
大阪	桃園連合振興町会	四季の花苗植え、毎日の水やり、メンテナンス、周辺清掃、定例会	地域美化
大阪	NPO法人 愛花会	季節の花と香りのある花を中心にメンテナンスフリーの花壇を作る	地域美化
大阪	すみれ・花フレンズ	SDGsの認識を種花事業で深め、持続可能社会へ貢献を	地域美化
兵庫	NPO法人 棚田LOVER's	棚田エコ学園、楽縁での棚田保全・担い手育成、都市農村交流事業	自然
兵庫	NPO法人 奥播磨夢倶楽部	奥播磨「森の再生とCO <sub>2</sub> 削減」モデル地域づくりプロジェクト	自然
兵庫	NPO法人 里野山家	地域の里山の再生活動を通じて人と人との交流の場を創る	自然
兵庫	NPO法人 おーえんくらぶ	うみがめが産卵に戻って来る豊かな海を取り戻そう	自然
兵庫	TANBA OUTDOOR ECOLOGY	親子が集い、学び、次世代へ繋げる河川・湖沼での体験型環境学習	総合
兵庫	一般社団法人 プナを植える会	豊かな自然の復元を願って、プナ林育成と環境学習を行う	総合

兵庫	山田の里グリーンクラブ	環境体験学習の指導と「里山の景観と文化」を次世代に継承する	総合
奈良	NPO法人 おおいわ結の里	里山の景観保全と花いっぱい村づくり	地域美化
奈良	富雄中学校区地域教育協議会	通学路に地域住民とこどもたちが花を植え故郷を愛する心を育てる	地域美化
奈良	NPO法人 響く美しい明日香の会	飛鳥川及びその周辺清掃、川沿いの遊歩道と木々の手入れ	地域美化
奈良	クリーンリバー飛鳥	飛鳥川の地黃橋周辺～春日橋の土手、川底の草刈とゴミの回収清掃	地域美化
和歌山	NPO法人 花つぼみ	全日本花いっぱい田辺大会を盛り上げよう～チューリップ大作戦	地域美化

## 中国・四国

都道府県	助成先団体名	活動内容	分野
鳥取	NPO法人 自然栽培そらみずち	自然と人の共働ある場づくり	自然
島根	馬路おこし会	日本遺産/国指定天然記念物「琴ヶ浜」周辺の環境美化活動	地域美化
島根	SAN-IN やすぎオオサンショウウオの会	オオサンショウウオの保護管理・生息環境保全対策上必要な調査	野生
広島	NPO法人 西中国山地自然史研究会	現代版の「里山コモンズ」を構築して、放棄される里山を保全する	自然
広島	広島湾さとうみネットワーク	干潟でのアサリ養殖体験や藻場造成による広島湾のさとうみづくり	自然
広島	堂々川ホテル同好会	ホテルと彼岸花と砂留を活かした環境保全	地域美化
広島	プロジェクトチーム：ベイシティグリーンロード	都市計画道路中広宇品線の歩道の清掃と植樹の除草と植花活動	地域美化
広島	花ネットワーク・BINGO	花や緑を育てながら老若男女の親睦をふかめる	地域美化
山口	「山野草のエキ」保存会	「350種の山野草の花が咲く生きた図鑑の森」の保護活動	自然
山口	三丘さくらもりの会	東善寺川流域環境整備・桜保全事業	地域美化
山口	棚田清流の会	地域美化を目的に、休耕田に花を植える	地域美化
徳島	NPO法人 環境とくしまネットワーク	「脱過疎」災害に強い仕組づくり-エネ活用+モビリティ EV実証	エコ
徳島	NPO法人 吉野川に生きる会	休耕地や荒れ地にパイオ桐を植え脱炭素社会の実現	自然
徳島	NPO法人 徳島県森の案内人ネットワーク	親子里山体験講座	総合
徳島	鳴門市花街道・地域づくりネットワーク	ひまわり祭り・友好コスモス祭り・花街道づくり	地域美化
香川	川西地区地域づくり推進協議会	2500m <sup>2</sup> の竹林を整備し小学生の環境学習や憩いの公園にする	自然
香川	大野地区衛生組合協議会	ため池堤防へ水仙、公共施設への花苗植栽により緑化を推進する	地域美化
香川	いいまちづくり観音寺輝き隊	毎月1回の公園清掃と池の藻の繁殖時期の集中的池清掃	地域美化
愛媛	一般社団法人 をかしや	せとうちインタープリター講座	総合
高知	NPO法人 夢創房室戸迎鯨の杜	海洋文化伝承と海浜保全プロジェクト	自然
高知	四万十川の里づくりの会	四万十川と共存するツルの里づくり事業	野生

## 九州・沖縄

都道府県	助成先団体名	活動内容	分野
福岡	宗像フェスCSR推進実行委員会	資源循環の体験をエンターテイメントを通して学ぶ	エコ
福岡	なかまの環境を良くする会	やっちゃれエコライフ2022	エコ
福岡	ウエットランドフォーラム	干潟環境の保全のための、観察会、啓発活動、啓発資料作成など	地域美化
福岡	ちとせコスモス街道	210号線バイパス沿い約4kmにコスモスの植栽活動	地域美化
福岡	東中間3丁目 友の会	地域住民による環境美化活動	地域美化
福岡	前原フラワーベルトの会	前原駅前周辺に花を咲かせ市民や観光客に心の安らぎを提供する	地域美化
福岡	白糸あじさいの会	糸島市の景勝地、白糸の滝周辺にあじさいを植樹し、守り増やす	地域美化
福岡	NPO法人 遠賀川流域住民の会	遠賀川から流れ出たゴミを流域住民で回収作業を行います	地域美化
福岡	津古ふるさと会	津古地域、宝珠川流域の環境美化活動	地域美化
福岡	Pine tree garden 松崎花壇部	松崎駅前の花壇を整備し、町の顔として明るい景観づくりを行う	地域美化
福岡	筑紫南コミュニティ運営協議会	地区内の公民館、小学校と連携して花いっぱいの街づくりをする	地域美化
福岡	NPO法人 リトルバンパー	JR小竹駅周辺の花壇を整備し、明るい町の顔作りを行う	地域美化
福岡	NPO法人 はかた夢松原の会	国道202号の国体道路におけるプランターや植栽帯に花植を実施	地域美化
福岡	南風校区多久川の自然環境を守る会	多久川の清掃、河川道路の草刈り、桜の植栽、維持管理	地域美化
福岡	大濠公園ガーデニングクラブ	県庁所在地福岡市にある大濠公園の池周り2kmの一部の花壇作り	地域美化
福岡	筑後小郡コウノトリの会	コウノトリの人工巣塔を設置するとともに育成環境を整備する	野生
佐賀	NPO法人 かいろう基山	森林を侵食する孟宗竹を伐採処理して、里山の保全を図る環境保全活動	自然

佐賀	NPO法人 伊万里湾小型船安全協会	海上清掃活動	自然
佐賀	NPO法人 つなぎレンガ座	緑化植花活動を通じ、地域の課題を住民たちで解決していく	地域美化
佐賀	笑うて暮らそうやっ会	町中を花で飾る活動	地域美化
長崎	長崎都市・景観研究所	斜面市街地の空地活用「さかのうえん」の取り組み	エコ
長崎	出津地区まちづくり協議会	シバヤギ復活のまちづくり事業	自然
長崎	茂木地区あじさいの会	茂木街道をあじさいでいっぱいにする地域活性化活動	地域美化
熊本	NPO法人 九州バイオマスフォーラム	薪の活用で森林保全と脱炭素の両立	自然
熊本	次世代のためにがんばろ会	地元の自然環境・干潟保全「エココースやつしろ」の育成継続活動	総合
熊本	エコ村伝承館	伝承活動（竹細工、紙漉きなど）の体験を伴う環境学習	総合
熊本	NPO法人 坪井川遊水地の会	坪井川遊水地散策休憩所整備事業	地域美化
熊本	山口公民館	山口公民館の地域に流れる町山口川のツツジの剪定と川の清掃作業	地域美化
大分	飯田高原野焼実行委員会	野焼きによる草原の景観や生物多様性の保全を図る	自然
大分	NPO法人 アースデイ中津	みんなでつながる防災・温暖化対策・ゼロ・ウェイスト活動	エコ
大分	ゆふ和草くらし	里山の自然体験学習（野草や地域資源の散策・保全・伝承）	自然
大分	NPO法人 大分宇宙科学協会	横岳の成り立ちと里山の自然を学び魅力を伝える活動	自然
大分	NPO法人 笑顔	里山自然を生かし野草菜草の再生と廃校整備による野草事業の創設	自然
大分	千部もみじ村	地域の小学生の森林学習の場と地域住民の憩いの場作り	自然
大分	亀川の自然環境を守る会	蛸や様々な生物を守り、自然と共生した地域社会の構築を図る	自然
大分	杵築市山浦地域活性化協議会	レンゲと菜の花畑が広がる里づくり	地域美化
宮崎	BEACON eco project	ゴミ削減を目的としたマルシェ・フリマ・譲渡会の開催	エコ
宮崎	五ヶ所高原 ゴマ姫の草原を守る会	ゴマシジミが生息する五ヶ所高原を守り、次世代へ引き継ぐ	野生
鹿児島	徳之島虹の会	徳之島の世界自然遺産を、次世代につなぐ自然体験・環境学習	総合
鹿児島	NPO法人 喜界島サンゴ礁科学研究所	サンゴ礁総合科学を通じた次世代国際リーダー育成拠点の形成	総合
鹿児島	ゆいむすび実行委員会	ビーチクリーン活動を主としたイベント企画等の環境保護活動	地域美化
鹿児島	田代未来プロジェクト	閉校した田代小跡地と地域全域の住民による協働緑化・美化活動	地域美化
鹿児島	NPO法人 らんらんらん	地域を明るくする植花活動パート5	地域美化
鹿児島	NPO法人 愛らんどマルシェ	鹿児島市早馬バス停の花植え活動&甲突川草刈り清掃活動	地域美化
鹿児島	天神町内会	田崎古江自転車道線の雑草刈込み、土の入替え、クメツツジ植栽	地域美化
沖縄	NPO法人 おきなわ環境クラブ	沖縄本島と宮古島で平地と川辺と海の森づくり活動	自然
沖縄	西表在来植物の植栽で地域振興を進める会	外来植物を駆除して海岸原風景を回復し、憩いと学習の場とする	自然
沖縄	兼箇段御願林蘇生会	森林の持つ窒素固定機能を支援する活動の周知と温暖化防止意識の醸成	自然
沖縄	みどり町一・二丁目自治会	子供達の通学路を花いっぱいにし安全・安心な街作り活動	地域美化
沖縄	「ゴミがすべての始まりだった。」	ビーチクリーン（海岸清掃）	地域美化
沖縄	泡瀬第三自治会	地域のメイン通りを花いっぱい	地域美化
沖縄	沖縄市クリーン指導員連絡協議会	地域と一体となり、環境美化の促進に寄与する清掃活動等を行う	地域美化

## 全国

都道府県	助成先団体名	活動内容	分野
全 国	NPO法人 海辺づくり研究会	沿岸域環境の保全・再生・創出や自然と共生する海辺づくりに関する事業	自然
	一般社団法人 日本環境NPOネットワーク	環境NPOリーダー海外研修の研修生が設立した全国規模のネットワーク組織の運営を支援	リーダー

# 2022年度(令和4年度)貸借対照表

2023年(令和5年)2月28日現在

(単位:円)

科目	金額
<b>I 資産の部</b>	
1. 流動資産	
(1) 現金預金	1,845,183,601
(2) 未収金	73,850
(3) 貯蔵品	73,840
(4) 前払費用	5,348,540
流動資産合計	1,850,679,831
2. 固定資産	
(1) 基本財産	
譲渡性預金	300,000,000
基本財産合計	300,000,000
(2) 特定資産	
土地	11,893,975
特定資産合計	11,893,975
(3) その他固定資産	
建物	616,792
建物附属設備	6,879,314
構築物	188,080
機械装置	1,607,344
車両	811,564
什器備品	109,773
土地	26,991,164
ソフトウェア	2,932,050
リサイクル預託金	29,650
その他固定資産合計	40,165,731
固定資産合計	352,059,706
資産合計	2,202,739,537
<b>II 負債の部</b>	
1. 流動負債	
(1) 所得税預り金	108,340
(2) 社会保険預り金	403,181
(3) 雇用保険預り金	146,600
(4) 賞与引当金	3,750,000
(5) その他の流動負債	341,412
流動負債合計	4,749,533
負債合計	4,749,533
<b>III 正味財産の部</b>	
1. 指定正味財産	11,728,339
(うち特定資産への充当額)	(11,728,339)
2. 一般正味財産	2,186,261,665
(うち基本財産への充当額)	(300,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(165,636)
正味財産合計	2,197,990,004
負債及び正味財産合計	2,202,739,537

# 2022年度(令和4年度)正味財産増減計算書

2022年(令和4年)3月1日から  
2023年(令和5年)2月28日まで

(単位:円)

科目	金額
<b>I 一般正味財産増減の部</b>	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
募金収益	
店頭募金収入	429,428,907
その他の募金	20,485,613
募金収入合計	449,914,520
寄付金収益	
セブン-イレブン本部寄付金収入	138,680,694
その他寄付金収入	10,472,418
寄付金収入合計	149,153,112
その他の収益	
前年度助成残余金返還額	17,653,290
東京事務局事業収入	90,000
九重ふるさと自然学校事業収入	638,181
高尾の森自然学校事業収入	1,245,701
受取利息	47,335
その他	53,536
その他の収益合計	19,728,043
経常収益計	618,795,675
(2) 経常費用	
事業費	
公募助成事業費	153,754,926
地域活動支援事業費	33,913,751
自然環境保護・保全事業費	51,874,625
災害復興支援事業費	1,342,933
広報事業費	125,060,235
事業費合計	365,946,470
管理費	
給与手当	60,817,049
法定福利費	11,030,616
退職給付費用	3,169,323
旅費交通費	3,563,708
ボランティア活動支援費	541,233
理事会等関係費	2,046,338
募金箱関連備品制作費	21,171,920
その他	4,241,344
減価償却費	7,350,798
賞与引当金繰入額	7,650,000
管理費合計	121,582,329
経常費用計	487,528,799
当期経常増減額	131,266,876
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
経常外収益計	0
(2) 経常外費用	
経常外費用計	0
当期経常外増減額	0
当期一般正味財産増減額	131,266,876
一般正味財産期首残高	2,054,994,789
一般正味財産期末残高	2,186,261,665
<b>II 指定正味財産増減の部</b>	
土地受贈益	440,000
当期指定正味財産増減額	440,000
指定正味財産期首残高	11,288,339
指定正味財産期末残高	11,728,339
<b>III 正味財産期末残高</b>	2,197,990,004

# 概要

- 名称** ● 一般財団法人 セブン-イレブン記念財団
- 理事長** ● 山本憲司（セブン-イレブン豊洲店オーナー）
- 事業目的** ● 環境をテーマに社会貢献活動に取り組む
- 事業内容** ● 環境市民活動支援事業／自然環境保護・保全事業／災害復興支援事業／広報事業
- 事業資金** ● お店に寄せられた募金と(株)セブン-イレブン・ジャパン、企業、団体、個人の皆様からの寄付金
- 設立日** ● 1993年(平成5年)11月20日(セブン-イレブンみどりの基金)
- 事業開始日** ● 1994年(平成6年)3月1日(セブン-イレブンみどりの基金)
- 財団設立日** ● 2010年(平成22年)3月1日



## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



本誌は森林保全活動に配慮したFSC®認証紙を使用しています。

本誌は環境に配慮した植物油インキを使用しています。



一般財団法人 セブン-イレブン記念財団

〒102-8455 東京都千代田区二番町8番地8

TEL:03-6238-3872 FAX:03-3261-2513

<https://www.7midori.org>